No,	タイトル
8	少女革命ウテナ 「ねらわれた七実」

A	1566 +12K
B	643 +12K

監督	幾原 邦彦
シリーズ構成	榎戸 洋司
キャラデザイン	
デザイン協力	
美術	
色彩設定	
脚本	
絵コンテ	松本 淳
演出	
作画監督	
色指定	
仕上げ	
背景	
撮影	
編集	
制作担当	
制作進行	

原画	
動画チェック	

少女革命ウテナ

Shoujo Kakumei Utena

Revolutionary Girl Utena

Television Series, Episode 6

七実様御用心!

Nanami-sama, Take Care!!

Aired originally in Japan on May 7, 1997.

Screenplay: Noboru Higa (比賀昇)
Direction: Yukio Okazaki (岡崎幸男)
Storyboard: Jun Matsumoto (松本淳)
Animation Director: Akemi Hayashi (林明美)

Animated by J.C. Staff.

This Xerox copy was acquired circa 2008 by J.S. (username **cscratch**) and donated to **Giovanna** and **Yasha** at Empty Movement (ohtori.nu.) It was subsequently scanned and hosted there, at https://ohtori.nu/gallery/Series/boards/Storyboard_Ep_06.

We are humble archivists trying to keep as much of the memory of this life-changing IP around as possible. We claim no ownership over these scans or the media therein. Please don't sue us.

Love,
Vanna & Yasha
Empty Movement (ohtori.nu, emptymovement.com)

6: “TAKE CARE, MISS NANAMI!” [EPISODE 6]

This episode originally went into production as “Episode 8.” It was “in production as Episode 8” during scripting, storyboarding, and even after animation started. But it got switched in the broadcast order with “Episode 6 (”Curried High Trip“, which broadcast as episode 8)”, because that episode fell behind schedule.

Because I always called this “Episode 8” during the production process, the impression stuck in my mind to this day is: “Curry is Ep 6; the kangaroo is Ep 8.”

It’s a comedic story, but it shows Nanami’s feelings for Touga. This wasn’t just about Nanami; it was also about how we’d present Touga. The original plan was to connect stories with a “Touga Episodes” theme: first in episode 8 we’d show Nanami’s feelings for Touga is a comedic way, then in episode 9 we’d show Touga in contrast with [Kyouichi] Saionji, then in episode 10 we’d show Touga using Nanami’s feeling for him, and finally in episode 11 we’d show Touga facing off against Utena.

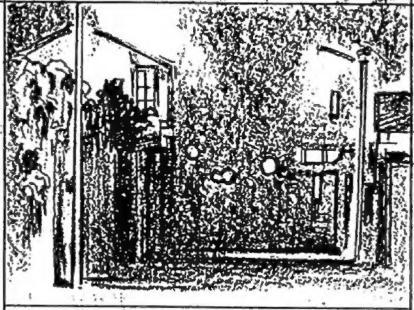
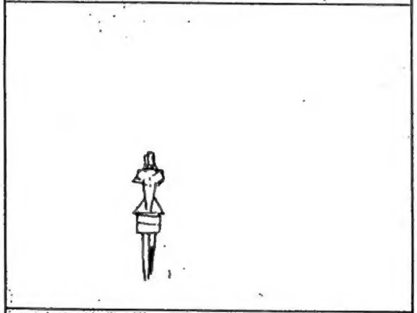
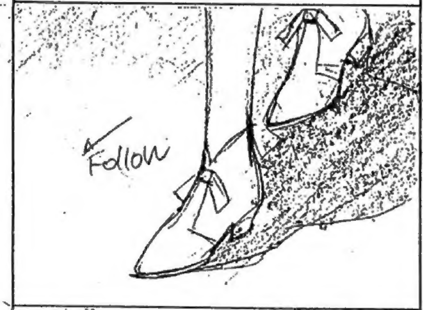
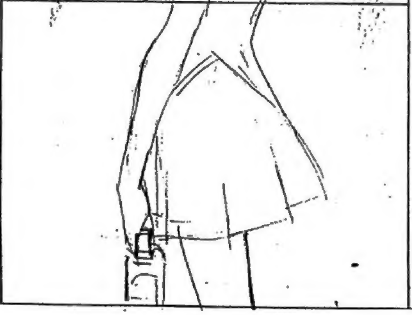
I’d used a group of three identical characters before, in 「*Sailor Moon S*」. It was strangely fun, so I tried sticking them in this show, too. The staff liked them, too (it was probably more like the staff found them convenient), so we turned them into semi-regular characters. It’s largely thanks to Ms. Hayashi, the animation director, that the production troubles weren’t reflected in the quality of the episode. I like how Touga looks so unnecessarily cool during the climax, when he defeats the kangaroo.

No.

JCSTAFF

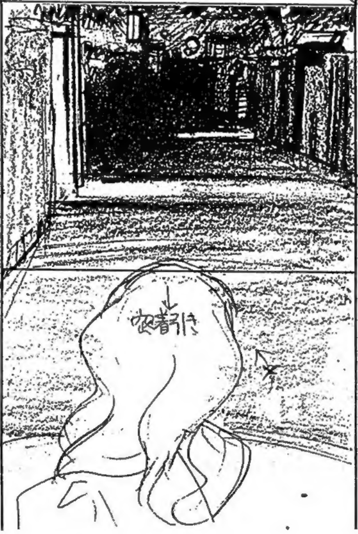
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
		#8 Aパート 135カット(C-99欠) 566+12K				

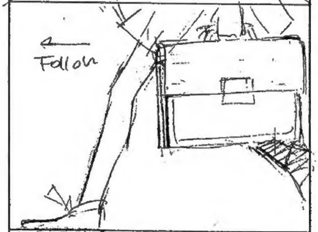
JL STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	1		F.I (2+0) 夜の道.	(SE) 七実足音・近づく		
	↓		街燈の下に 七実が歩いて来る。 (リピート+F.I) ※苦しかったら、 足元を切った絵で。		8+0	
	2	 	歩く七実の足. カット尻 立ち止まり。 止まって 1+0ぐらい		3+0	
	3		PAN・UP			
			立ち止まっている 七実。			

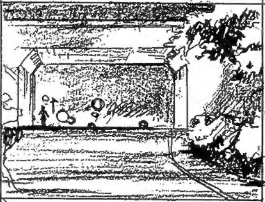
No. 2

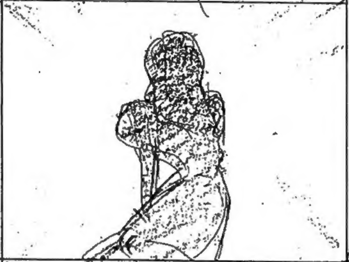
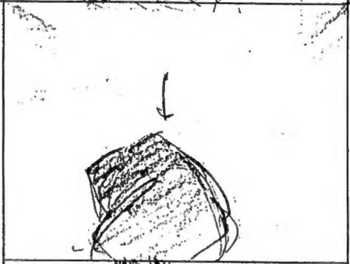
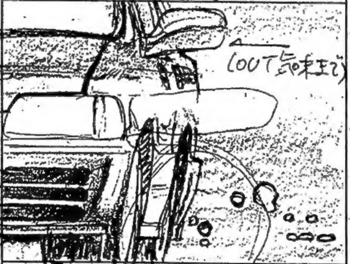
JC STAFF

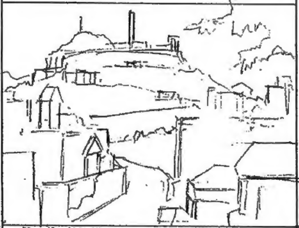
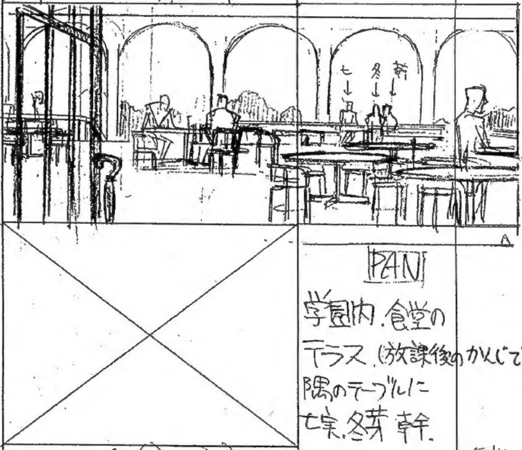
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			振り返る		6+0	
	4		振り向いて見る七実。道の奥は闇にとけている。 cut後半、足音が聞えて来る。 PAN・UP PAN 6+0 止×4+0	SE コッ コッ コッ コッ (足音)	10+0	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	5		じっと様子を見ている七実。 TU		5+0	
	6		七実、迫る足音。 TU	(立ち止まりナシ)	5+0	
	7		走っている七実 (前cutとのつなぎナシ) 謎の足音も走って追って来る。	SE タッ、タッ、タッ (七実+謎の走る足音)	2+0	
	8		走る七実		2+0	

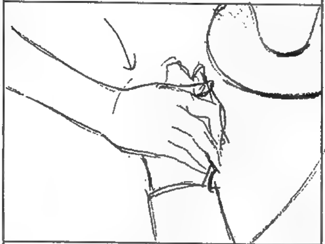
JC STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	9		ガードの向こうに、走って来る七実. (リピート+スライド)		3+0	
	10	 	ガードの下を走る七実. 反響する足音.			
			つまずいて.	(七実)「あッ!」		
	11		A C 路上に倒れ込む七実.		2+0	

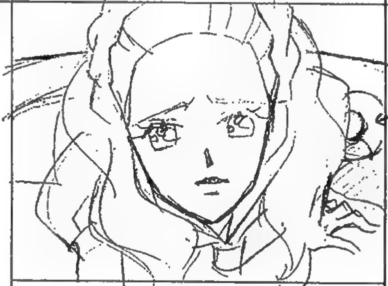
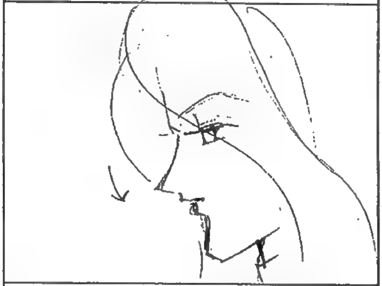
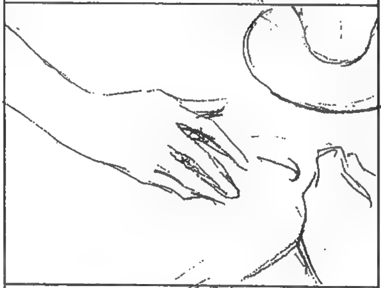
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			そこへライトが当って、(OL)… 顔を上げる	(SE) ブオオ (自動車)	3+0	
	12		迫まるヘッドライト		1+0	
	13		悲鳴あげる七実	(セ)「キャあー」	0+12	
	14		1-14同ポ 身を縮める七実			
			その奥を横へ流れる自動車		2+10	
	15		縮まってる七実。いったんライトが通り過ぎてから、今度はブレーキランプの赤い光に照らされる	キー (ブレーキ)		

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
		ねらわれた七実	サブタイトル		8+0	
	19		鳳学園 (#1BANK)		3+0	
	20		PAN 学園内.食堂の テラス.(放課後のかんじで.人まばら) 隅のテーブルに 七実.冬芽.幹.		5+0	
	21		冬芽.	(冬芽) 「命を狙われている?」	2+12	

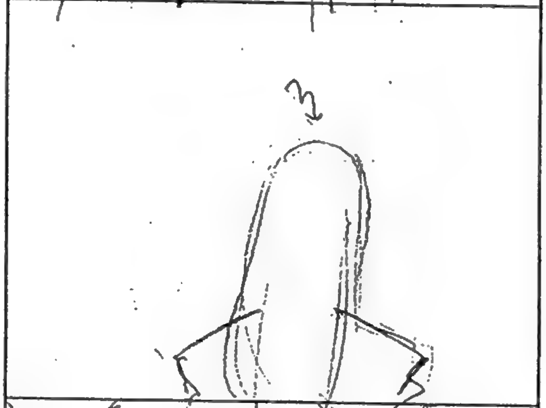
JCSTAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	22		テーブルはさんで七実と冬芽。奥に幹。	(七)(on→off)「これが初めてじゃないんです。植木鉢が落ちて来たり、材木が倒れて来たり、	5+12	
	23		聞いてる幹。	階段から突き落とされそうになったり」		
	↓		ポツリと。	(幹)「強いな……悪運」	5+0	
	24		テーブル上、冬芽の手に自分の手を重ねる七実。	(七)(off)「助けて！お兄様」 (カップの倒れた) SE ガチャン！	2+0	
	25		テーブルの上に乗っている七実、冬芽に言いつのる。幹、アタフタ(?)	(七)「これはきっと、スタイルがよくて可愛くて、人望も厚く、お上品な七実の事を妬んだヤツの仕業に違いないわ！」	7+1	

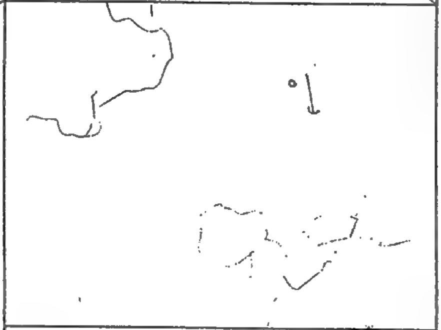
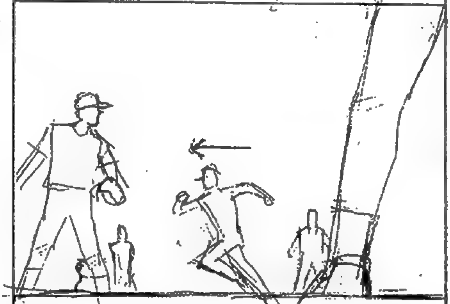
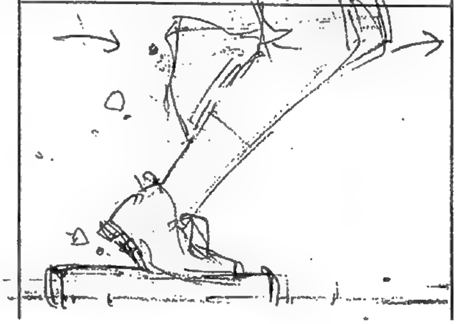
JL STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	26		テーブルの上の七実 カップが倒れている。	(七) 「七実……		
				とっても怖い」	3+0	
	27		やれやれの冬芽	(冬) 「ふう……」	2+12	
	28		七実から離れる冬芽の手。	(冬)(off→on) 「何の話かと思えば……	2+0	
	29		立つ冬芽	(on) 推理小説の読み過ぎじゃないのか、七実」	3+0	

No. 10

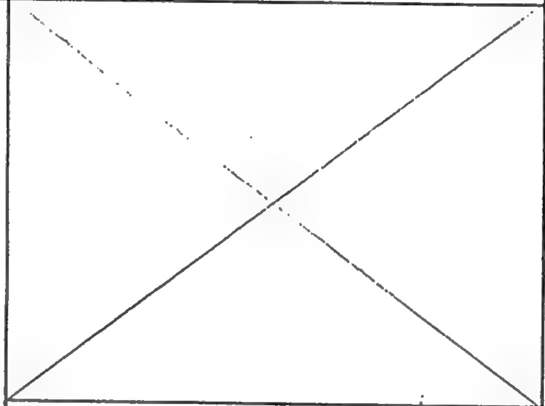
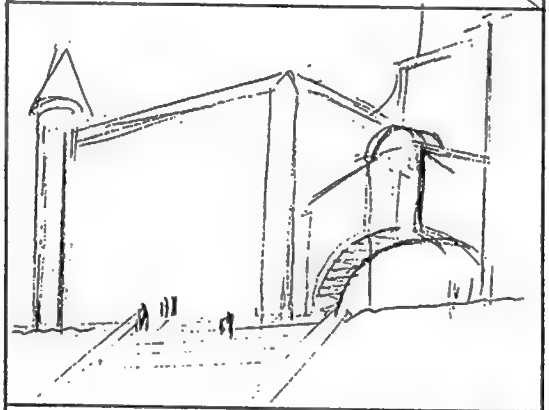
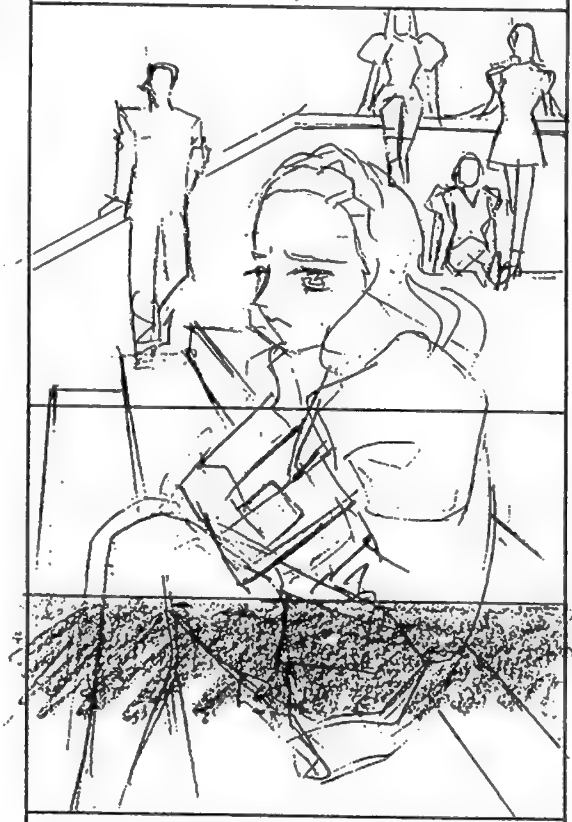
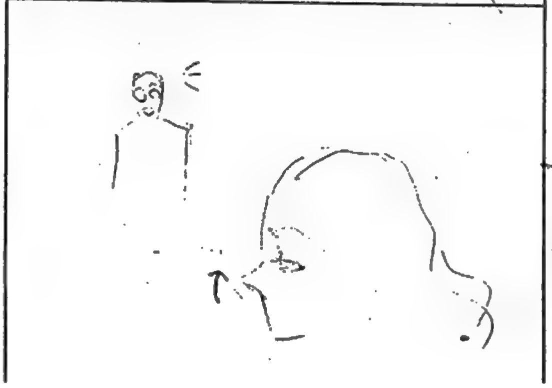
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	30			(七) 「そんな！」	2+0	
	31		冬芽、 背を向けている。	(冬) 「悪いが生徒会の仕事が忙しいんでね。		
			奥へ歩く冬芽。	失礼」	5+0	
	32		見送る七実と幹。 ガク然の七実。	(七) 「…お兄様」 (SE) カン！…	4+0	

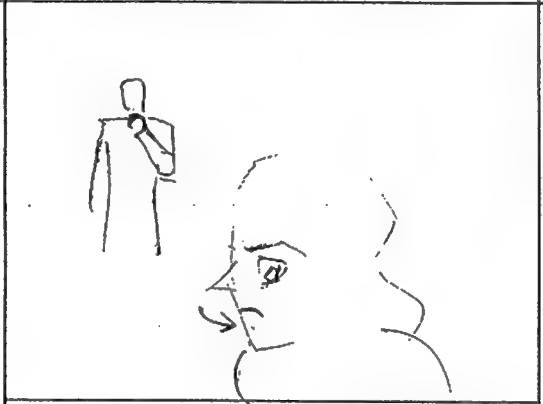
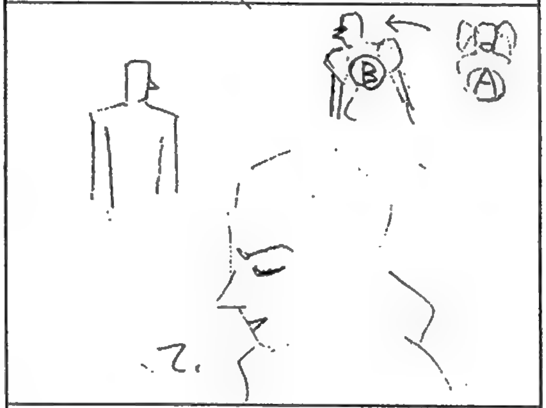
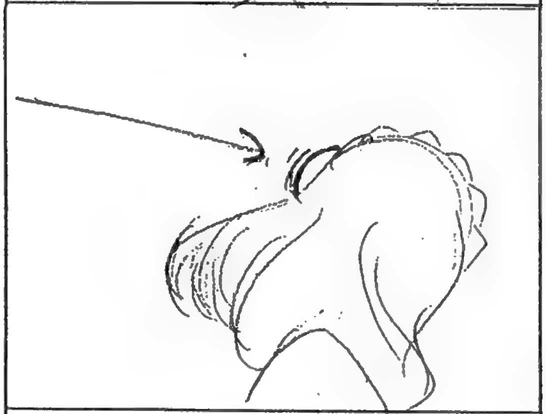
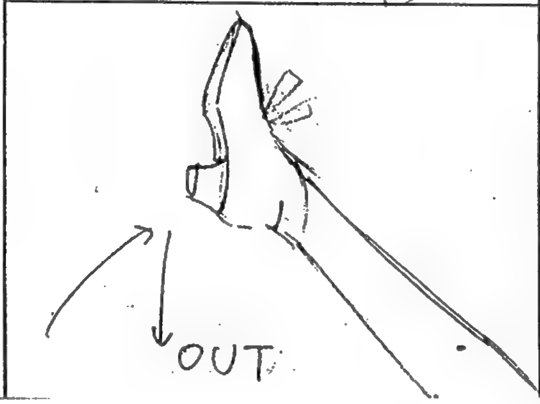
NO. 1

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	33		飛んで行く 白球		2+0	
	34	 	校庭で 野球部が 練習試合。		2+0	

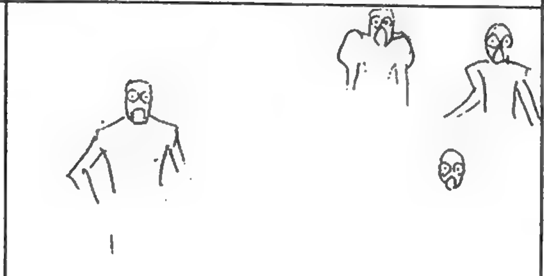
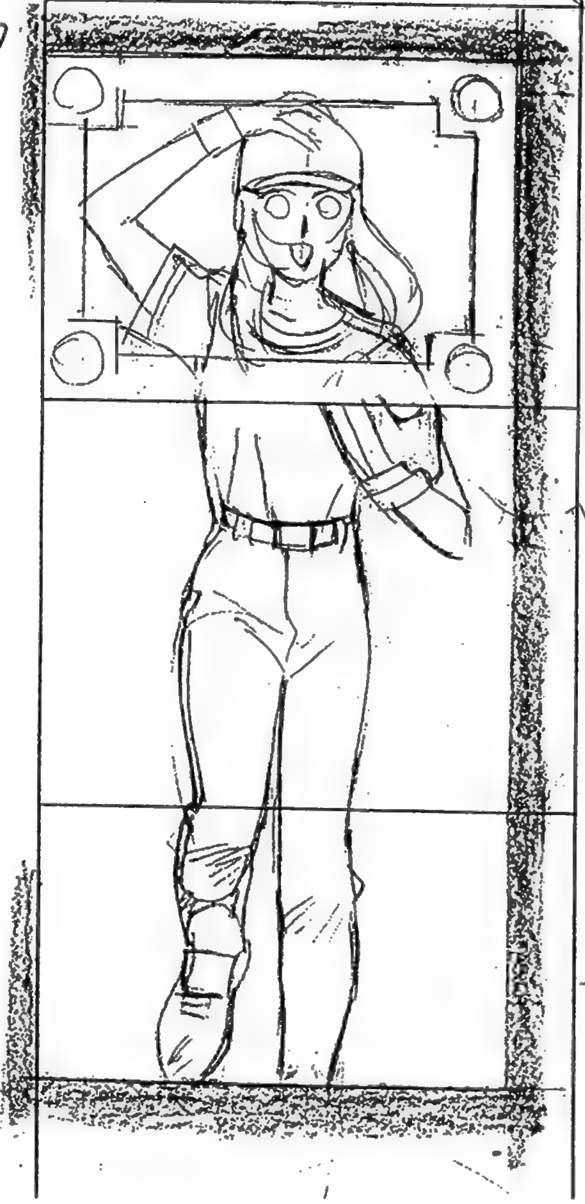
No. 12

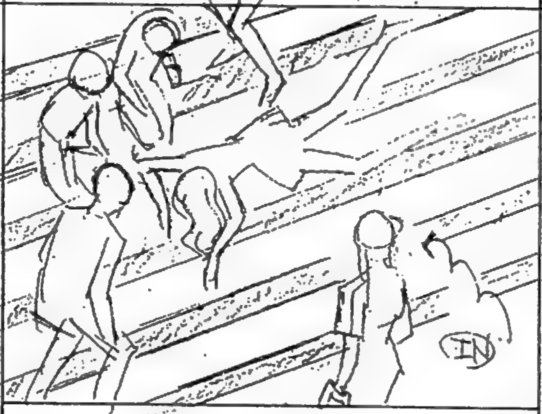
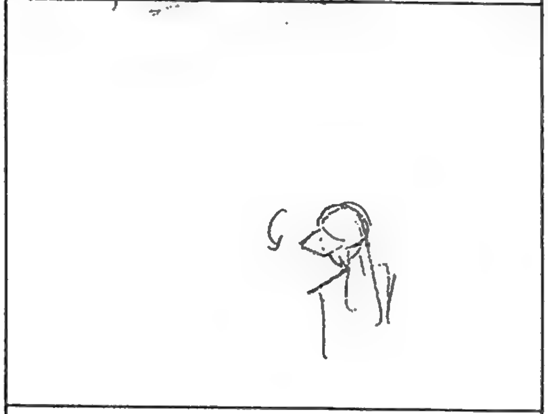
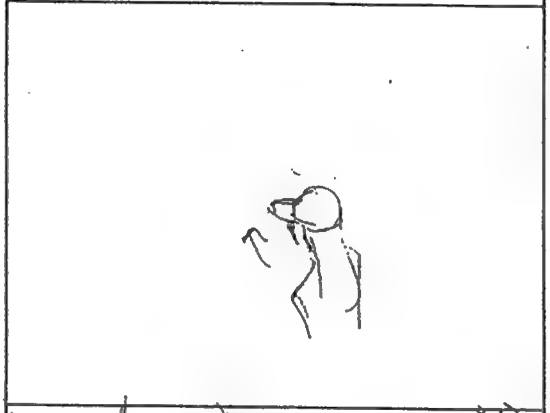
J.C.STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
						
	35		校庭より見た校舎。 BG #1 BANK	(SE)+(声) 「野球部の練習」	3+0	
	36		階段に座ってる七実。奥に幹と七実の手下たち。 PAN UP (5+0)	(七) 「もう、 お兄様ったら、 冷たいんだから…」 (幹) 「兄妹ってね 複雑なんだよ」		
			七実、冷たい目で幹を見る。	(七) 「何よ、それ？」		

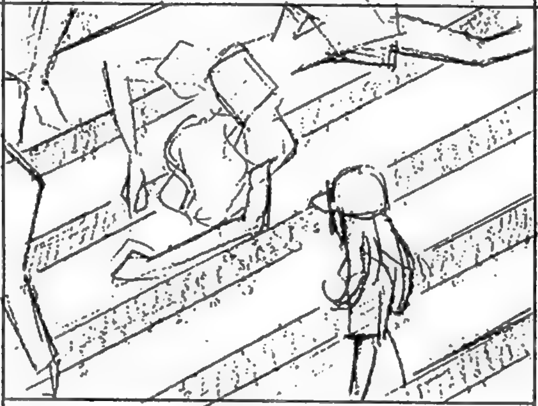
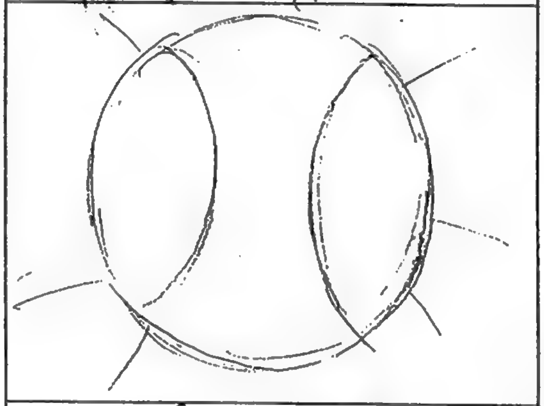
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			幹、咳払いで誤魔化して、セリフ。	(幹)「心当たりはないのかい？何か、恨みを買うようなことをしたとか」 (七)「失礼ね！」 (手下A)「そうですとも。七実さまに抜かりはありません」		
				(手下B)「ご自分の手は決して汚さない主義ですから！」		
			(16+0)	(幹)「なるほど…」 (七)「…って納得してンじゃないわよ」		
			ボールが飛んで来て七実を直撃！	(幹)「ゴメン」 (七)「人事だと思って！こうしている間にも私は命を狙われているのかも知れないのよ！」		
			そのままの勢いで倒れ込む。 (8+0)	(SE) ゴン！ 「ウゲッ」		

No. 14 JC STAFF

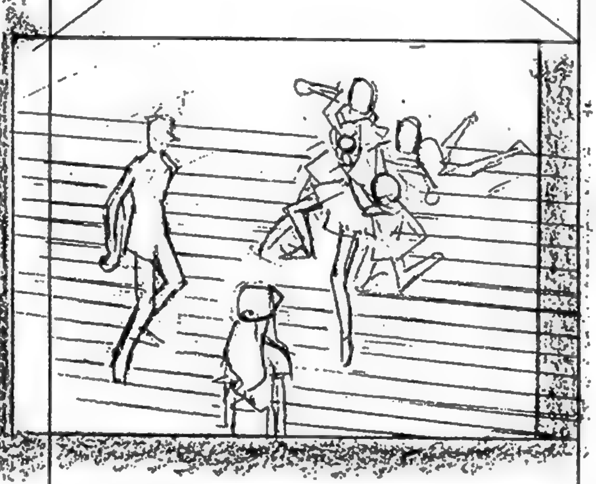
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			驚く幹と 手下たち。 (3+0)	(手下たち) 「七実さま〜〜！」	35+0	
	37		走って来る ウテナ。 野球のユニフォーム を着ている。 ← Cutいっぱい 額ブチ 注目フレーム (花ピンク) PAN-UP	(ウ) 「ゴメンゴメン。 思ったより遠くまで 飛んじゃって」	5+0	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	38		倒れている七実を囲んでいる幹と手下たち。 ウテナ来る。	㋒ 「えーと		
			ボールを探すウテナ。	ボールはどこかな？		
			幹に聞く。	ボール見なかった？」	6+0	
	39		七実、倒れたままセリフ。	㋨ 「あなただったのね…」	2+0	
	40		振り向くウテナ。 （アオリ）	㋒ 「え？」	1+12	

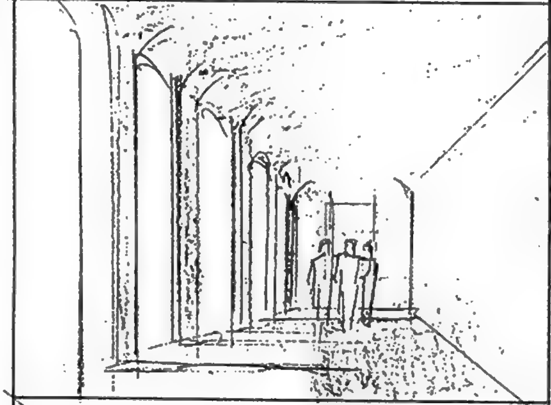
J.C.STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	41		七実、倒れたまま	㊆「植木鉢落したのも、材木倒したのも、階段から突き飛ばしたのも、全部あなたの仕業だったのね？」	8+0	
	42		35 同ポ ウテナ	㋒「何の事？」	2+0	
	43		ボールから			
	↓		奥へ。 顔にボールがくい込んでいる	㊆「ウキ〜」		
	↓		叫ぶ七実。 迫力。 (BGイメージ)		3+0	

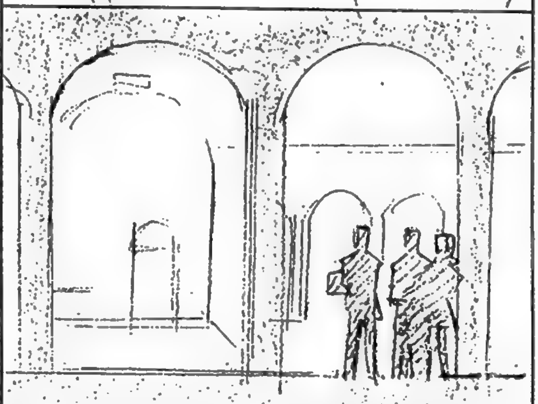
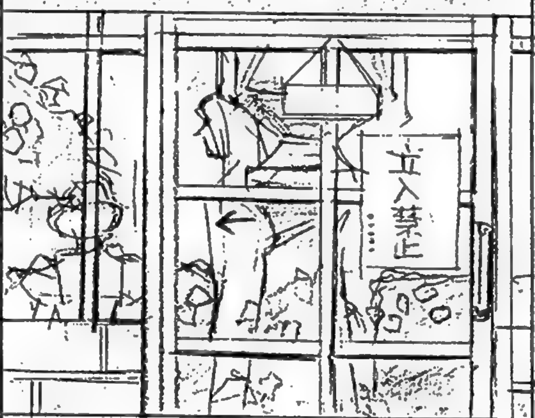
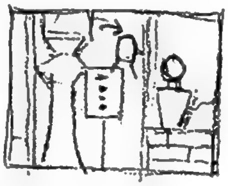
JC STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
				(七) 「まーだ とぼけるつもり!!」		
			殴りかかろうとする七実(ボール付いたまま)を押さえている手下たち。 (バタバタ)			
	44			手下A 「七実さま、落ち着いて!」 手下B 「まだそうと決まったわけでは!」		
			見ているウテナと幹。	(ら) 「なんでも いいから 早く ボール返して」	8+12	

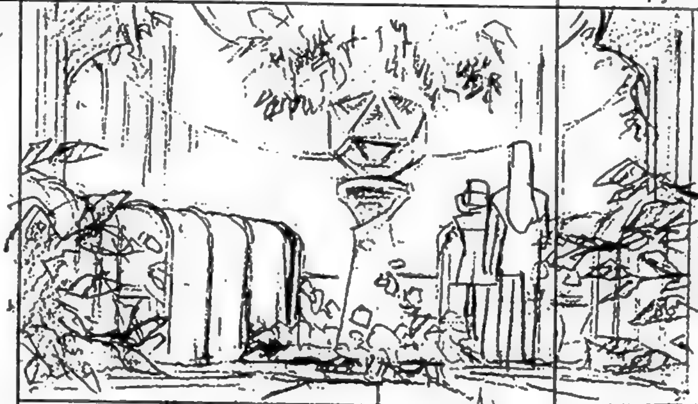
JC STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	45		廊下 (BG#1 BANK) 歩いて来る、ウテナ 幹、七実。 (リピート＋TU)	(ウ)(off) 「ハハハ、ボクがそんなことするハズないじゃない。 第一、ボクには君を殺すだけの動機がないよ」 (七)(off) 「だといいけど…」。	8+0	
	46	 	ウテナの肩なめて七実	(七) 「私、知ってるのよ。あなたがお兄様に色目を使っていることぐらい。」	5+0	
	47	 	ムッとして振り返りながら立ち止まるウテナ。	(ウ) 「アイツが勝手にちょっかい出して来るだけだろ！」		
			七実 IN。	(七) 「まあ、なんて自意識過剰な人なの！」		

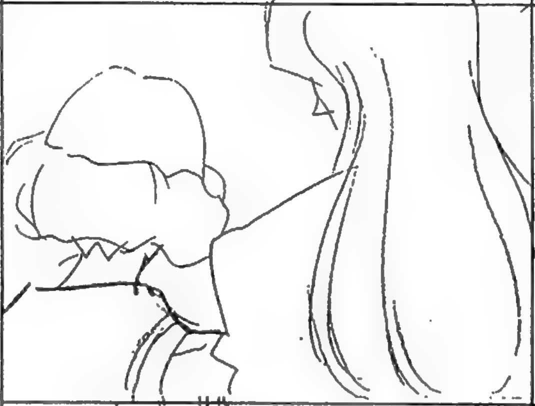
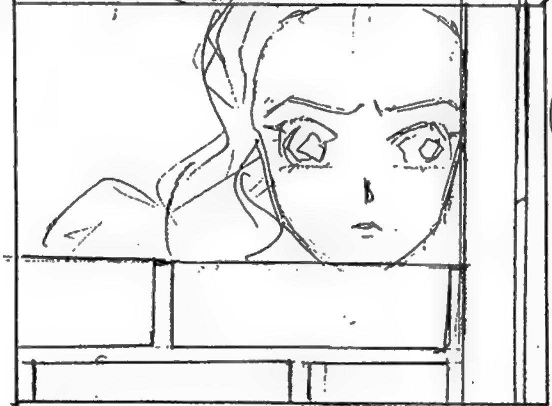
JC STAFF

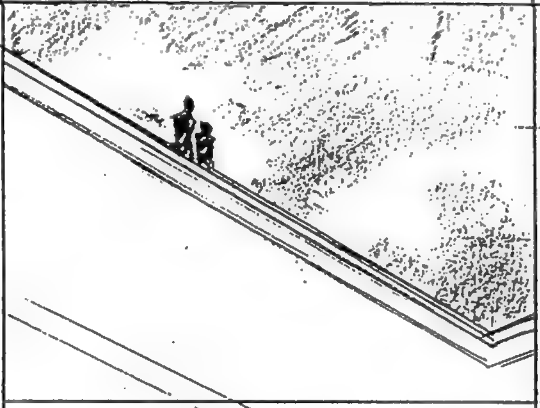
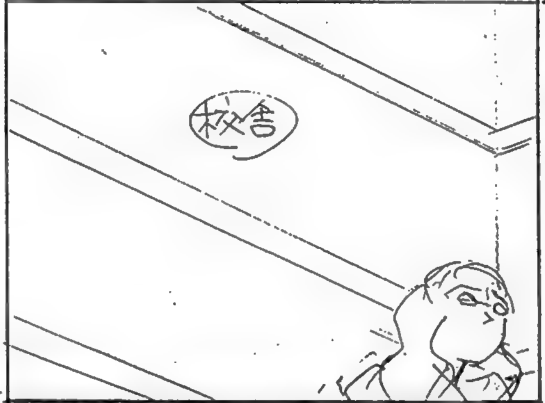
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	↓		にらみ合う2人	(幹)(off→on) 「あれ、温室に誰かいる」	7+0	
	48		中庭側を向いている幹	(ウ)(off) 「えっ?」	2+12	
	49		廊下から見た温室。 (BG #1 BANK)	(七)(off) 「だってドアに立入禁止って…」	4+0	
	50		(Ex) 温室の前。 ドアに「立入禁止」のハリガミ。 中にアンシーらしき背中。冬芽がチラッと見える。	※ウラ作。 (つまり、こうです↓) 	2+0	
	51		「あ」という感じのウテナたち。	(七) 「お兄様…」	3+0	

JC STAFF

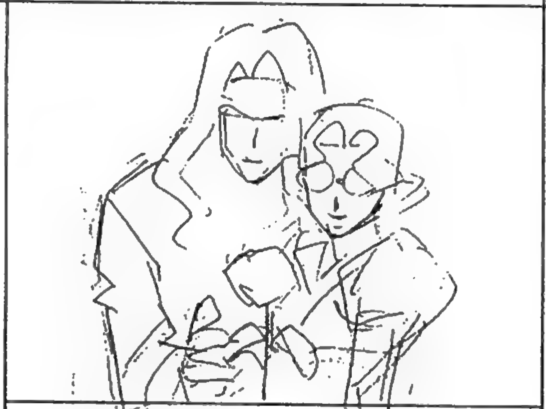
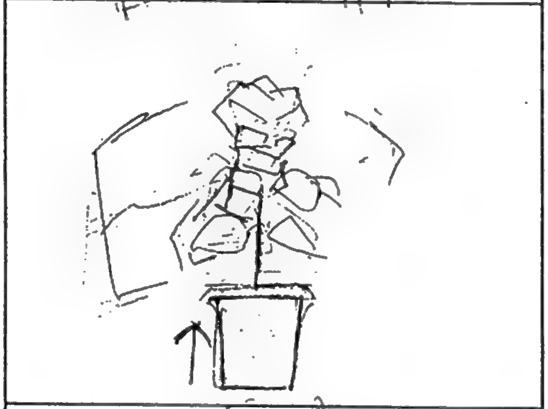
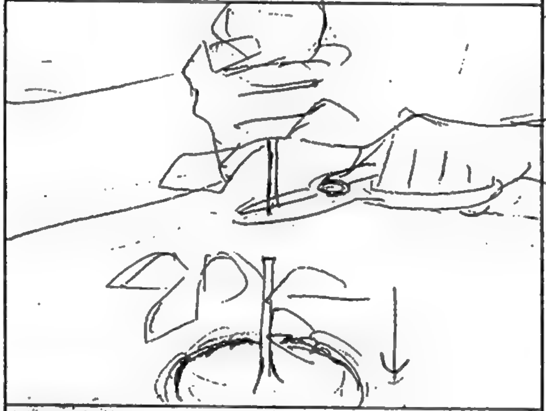
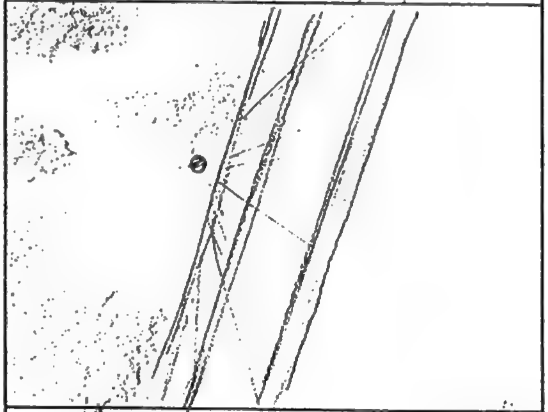
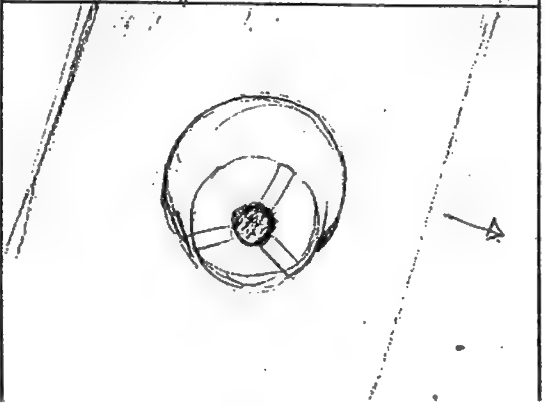
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	52		温室内 奥に冬芽とアンシーの背中が見える PAN+TU	(冬)「何故、さっさと片付けない！あんなヤツ生かしておいてもタメにならん」 (ア)「でも…私には出来ません」	8+0	
	53		温室の中をのぞいている七実、ウテナ、幹。	(冬)(off)「怖じけづいたのか。今更計画の変更はできない」	4+0	
	54		冬芽、ちょっと表情が見える。	(冬)「一思いに殺してしまえ！」	2+12	
	55		ガーンの七実 ・Cutいっぱい 浅くT.B	SE ガーン！	3+0	
	56		戦慄しているウテナと幹	(幹)「き…聞こえましたか？」 (ウ)「ああ、殺すとかなんとか…」	5+0	

JC STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	57		アンジに詰め寄る感じの冬芽	(冬)「さあやるんだ。虫ケラ一匹殺した所で、何の問題にもならん」(ア)「そんなことありません。たとえみんなから嫌われていても、命は命です。」	10+0	
	58		ためらうアンジー	「もう少し待てば、大人しくここから出て行ってくれるかも知れませんし」		
	↓		冷酷な冬芽 カット頭流PAN 12K (→)	(冬)「何を甘いことを」	6+0	
	59		ショックの七実 (モノクロームの画面へOL)	(七)(M)「そんな…まさか。私の暗殺を企てていたのは、お兄様本人!?」	7+0	

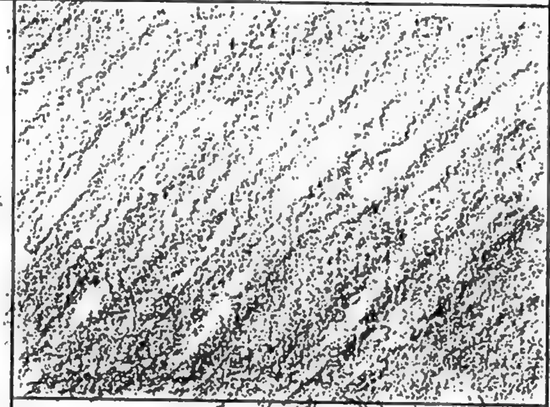
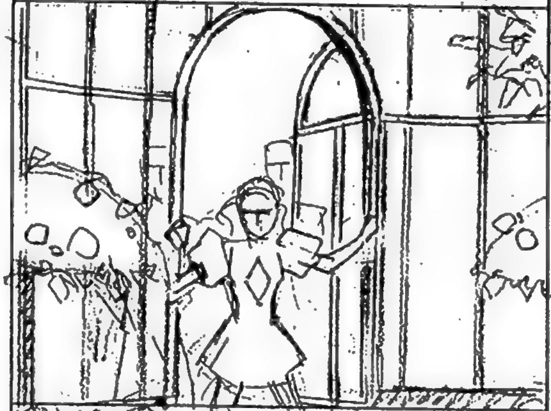
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	60	 	PAN UP 七実の背後の校舎屋上に2人の人影(冬芽とアンシー)	(七)(M) 「わざわざ立ち入り禁止にして、密談!」	5+0	
	61		モノクロームの画面。 見つめ合う冬芽とアンシー。 手前にバラ一輪 (バラの花にだけ赤い色) (止X)	(冬)(off) 「これで二人を邪魔するものはいなくなる」 (ア)(off) 「私たちやっと一緒になれるのですね」	6+0	
	62		ほほえんでいる冬芽。 (止X)	(冬)(off) 「それじゃ、行くよ」	2+0	
	63		瞳うるませているアンシー。 (止X)	(ア)(off) 「はい、冬芽さま」	2+0	

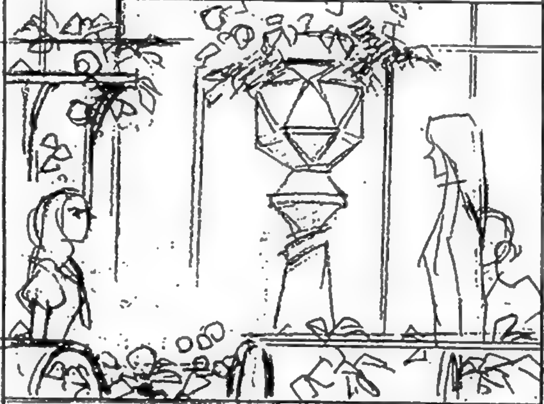
JLSTAFF

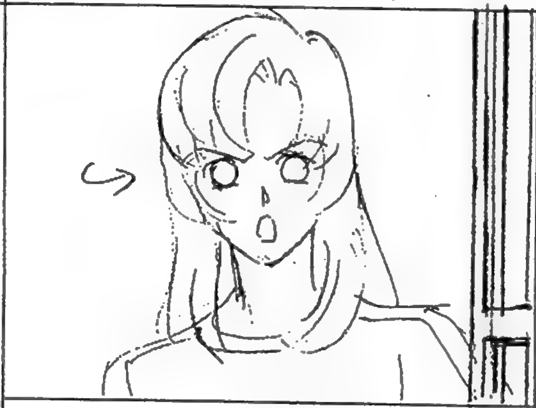
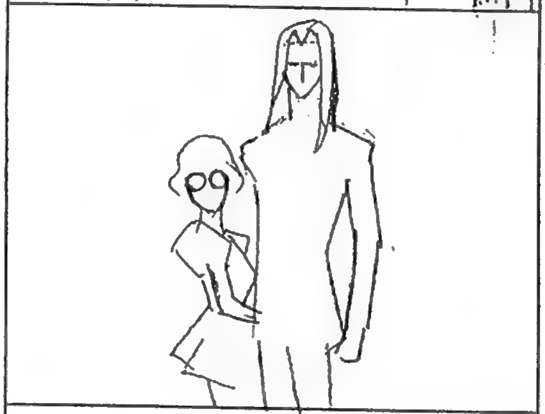
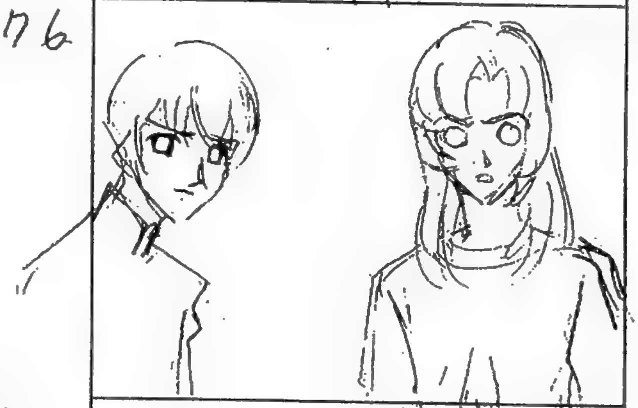
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	64		61 同ポ 冬芽がバラの首をつまんで持ち上げると、根元が植木鉢になっている。			
					2+12	
	65		アンシーの鋏に切られるバラ。 落ちる植木鉢		2+12	
	66		落下して来る植木鉢			
				Ⓣ(off) ぎゃ		

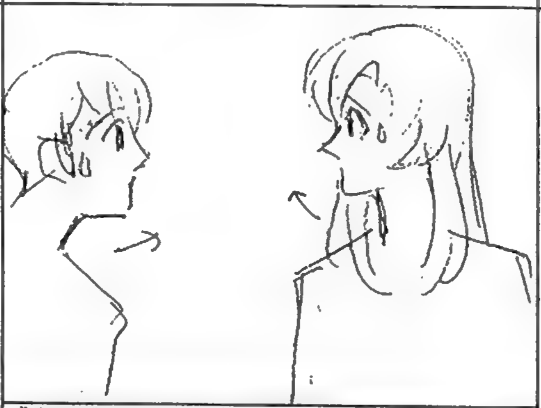
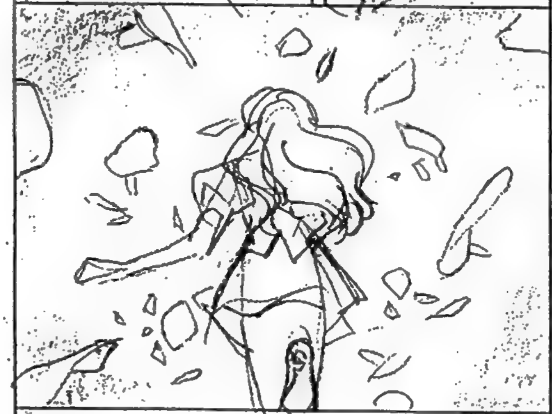
No. 24

JC STAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	↓		BLまで. (モノクロここまで)	SE	4+0	
	67		背に振り返る アンシーと冬芽 57 同ポ (これよりノーマル)	(ドアの開く音)	1+12	
	68		温室の戸口に 立っている七実		3+0	
	69		冬芽とアンシー 「何事?」	(冬) 「七実…」	2+0	
	70			(七) 「酷いわ お兄様!」	2+0	

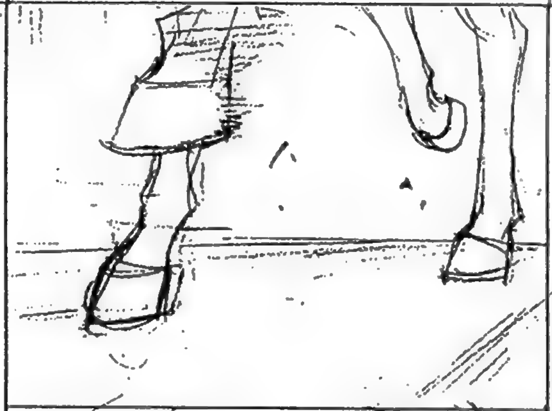
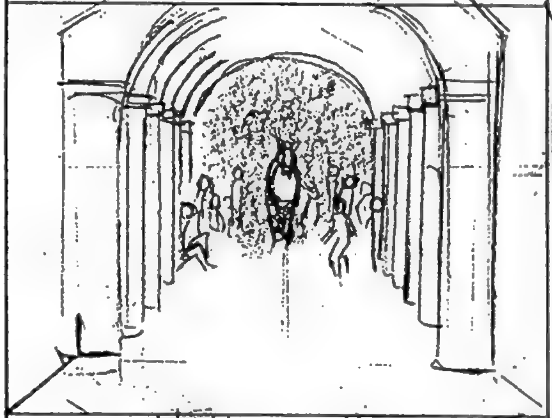
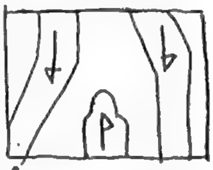
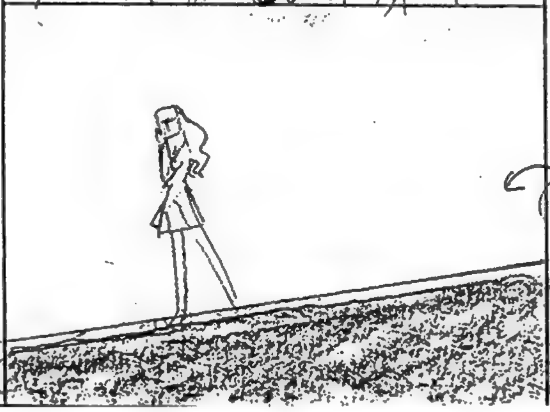
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	71		冬芽とアンシーに対する七実。	(七)「最近冷たいとは思っていたけれど…… そんなに七実のことが邪魔だったの?!」 (冬)「何のことだ」	6+12	
	72	 	七実、怒っているような泣いているような表情。 涙がこぼれて、 ううッとなる。 バッときびすを返して、 A	(七)「ううッ…… お兄様のバカーッ!」	4+0	
	73	 	C 駆けて出す七実。 見せる幹とウテナ。	(幹)「七実くん!」	2+12	

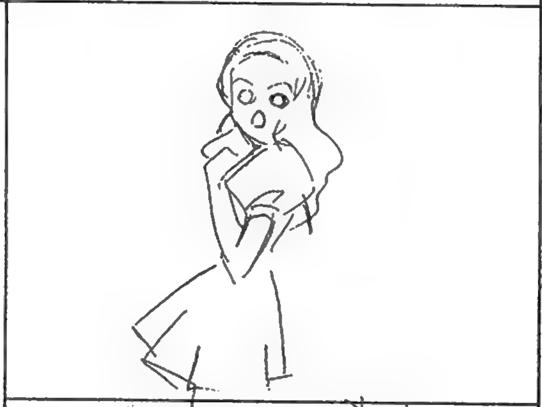
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	74		ウテナ、冬芽に向って。 （余談だが、凄いセリフだ……）	㋒ 「見損なったよ。いくら生徒会長だからって、妹を殺そうとするなんて！」	5+0	
	75		69 同ポ 冬芽とアンシー	㊝ 「だから、何を云ってるんだ？」	2+12	
	76		ウテナと幹	㋒ 「だって今 殺すの殺さないのって……」	3+0	
	77		冬芽の陰から出て来るアンシー。手に何か持っている。	㋐ 「はい？」	2+0	
	78		アンシーの手の殺虫剤。	㋒(off) 「あ……まさか、それって」	3+0	

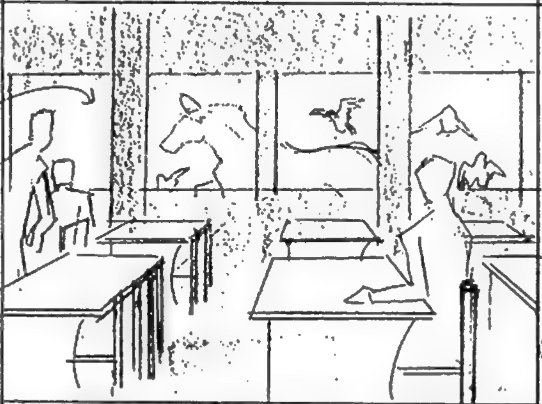
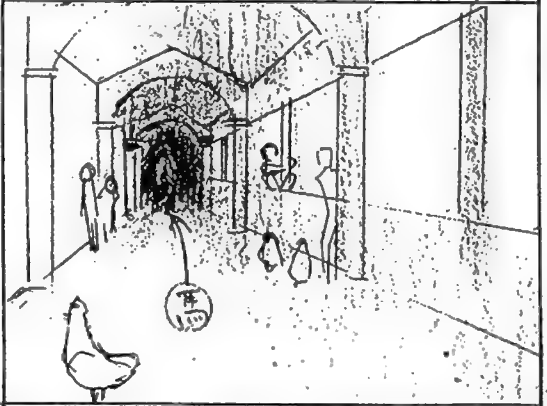
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	79		顔を見合せる ウテナと幹。 76-同ポ		2+12	
	80		走る七実、 シルエット。 (アーチはBLベタの背動)	・BG 青空 Follow (一合) ゆっくり 1k/0.25mm	5+0	
	81		七実、 泣きながら走る。 ・シルエットのアーチ、 背動→IN OUT ・BG Follow (一合)	七(M) 「ひどい! ひどすぎる!	2+12	
	82		走る七実。 (ストロボ) BGイメージ。 散る花びら (出×ズーパーTU を重ねて)	私を殺そうとして いた犯人が、 大好きなお兄様 だったなんて!	4+12	

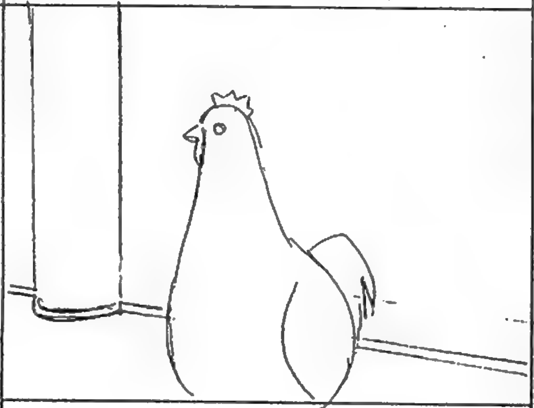
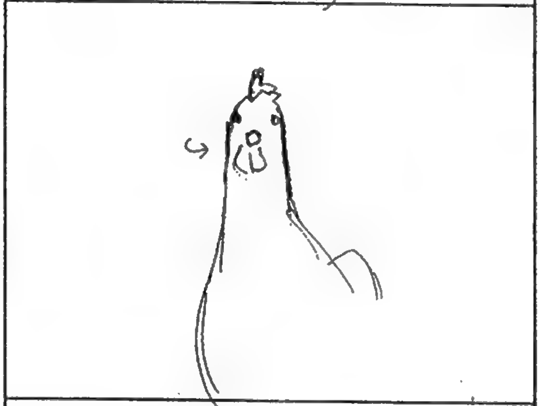
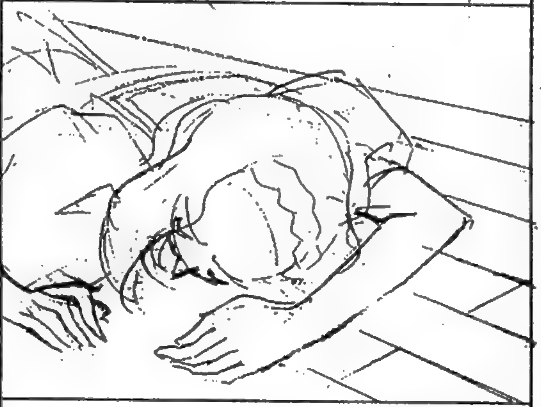
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	83		PAN 七実、イメージ 流れる花ビラ (山×引き)	七(M) 「七実なんて死んじゃえば いいんだ! 七実なんて!」	5+12	
	84	BG 透過光	いななく暴れ馬 PAN UP	生徒たち (ガヤ) 馬「ひひーん」	3+6	
	85		声にふり返る 七実。	声(off) 「暴れ馬だ!」 「暴れ馬が出たぞ!」	2+12	

JLSTAFF

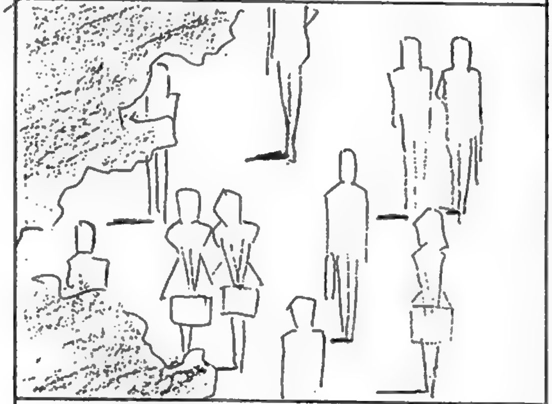
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	86		廊下を走る 馬の足をFollow (BG 2枚パカ＋タッチは動画) 		2+0	
	87		画面横切る 生徒の足 (パースと関係なく) 2人ぐらい 走る馬(リピート＋TU)		2+0	
	88		生徒たちの間を 駆けぬける馬 IN, OUT ※窓の外は透過光(逆光調)		1+0	
	89		七実に向って 走る馬。(リピート＋TB) BG透過光 (これも逆光調)		3+0	
	90		七実に向って 迫るカメラ(作画) BG透過光			

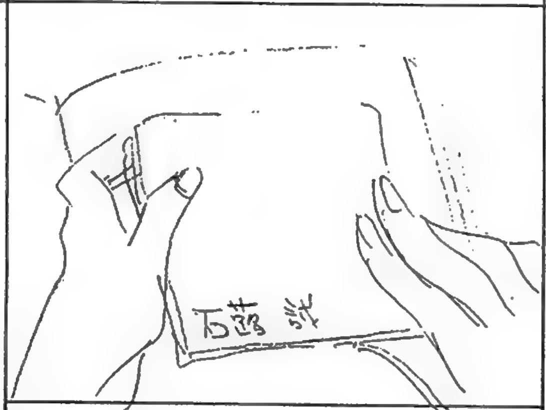
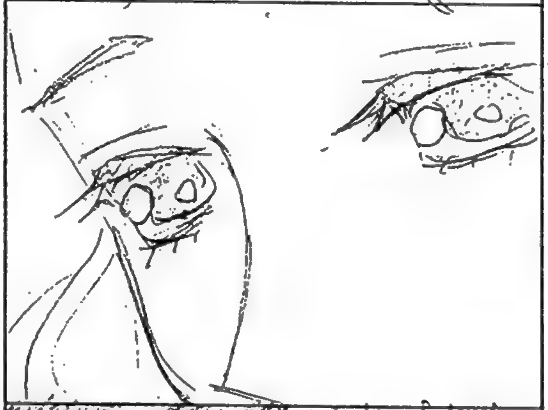
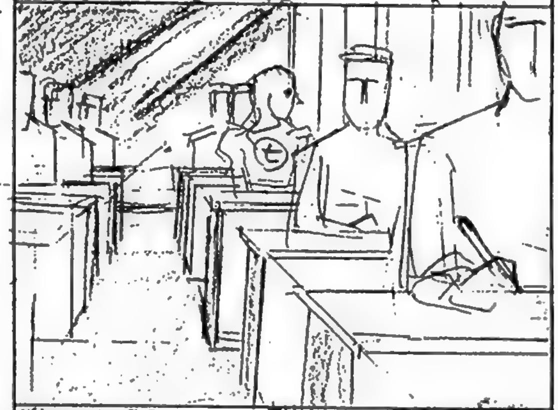
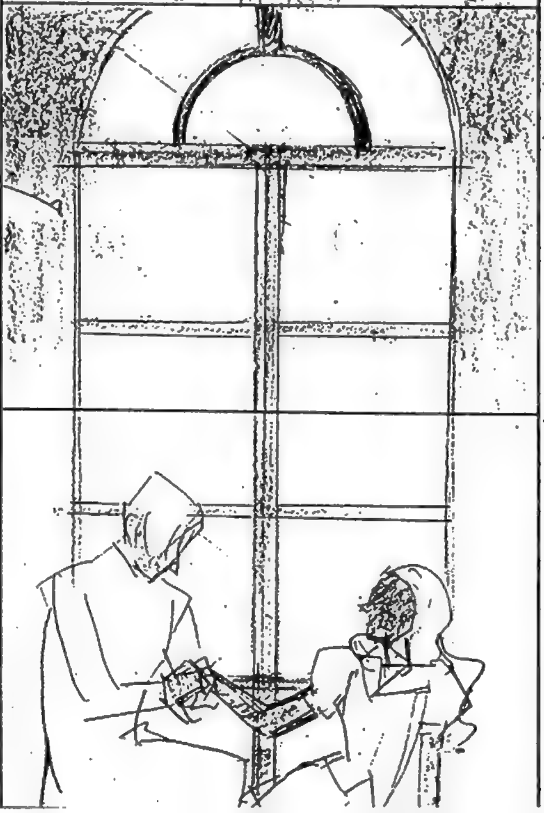
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
				(モ)「きゃ〜〜〜」		
		(白コマ)	▽ホワイト F.O (0+12k)		2+0	
	91		白コマからW.F.I (0+8k) 馬と驚いて逃げまどう雌鳥 (BG透過光) (止X)		1+12	
	92		白コマからW.F.I (0+8k) BG (W) T光 (止X)		1+12	

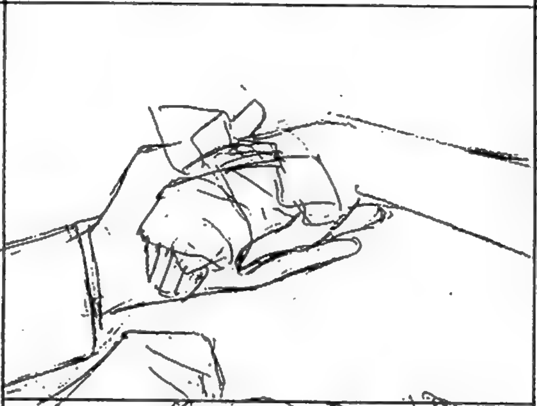
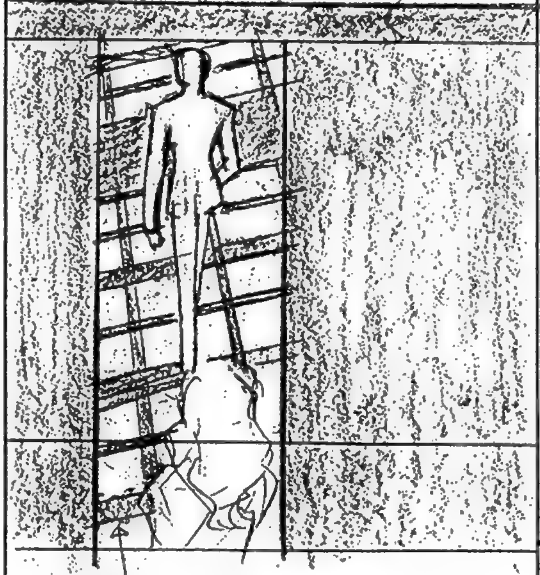
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	93 透過光		白コマからW.FI (0+8K) 教室の中から見た馬 止X		1+12	
	94		白コマからW.FI (0+8K) 倒れている七実。その上にかぶさっている謎の男。 止X		1+12	
	95		白コマからW.FI (0+8K) 馬と雌鳥。 ←BG透過光 止X		1+12	
	96		廊下の奥の闇にとけて行く馬。 (リピート+F.O) ↓ 場合によってはスーパーTBE.	SE (遠ざかる蹄の音)	3+0	
			Cut頭 WIN (0+8K)			

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	97		黒い馬を見送る 雌鳥.			
	↓		声に振り向く.	㊉(off) 「お嬢さん…」	3+0	
	98		倒れている七実. フカン気味			
	↓		謎の男 IN 七実. 気づいて顔をあげる 	㊉(off) 「お怪我はありませんか! お嬢さん」 ㊆ 「え…		
	↓		謎の男に見惚れる七実.	あなたは….?」	7+0	

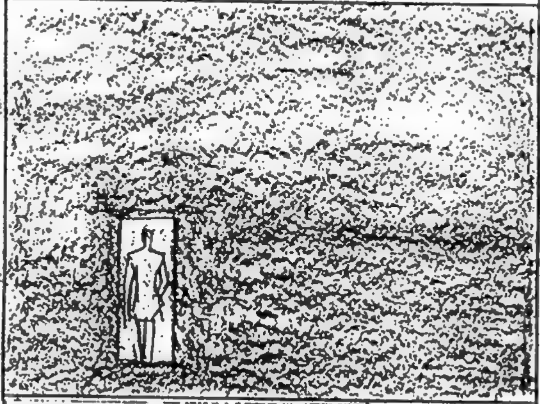
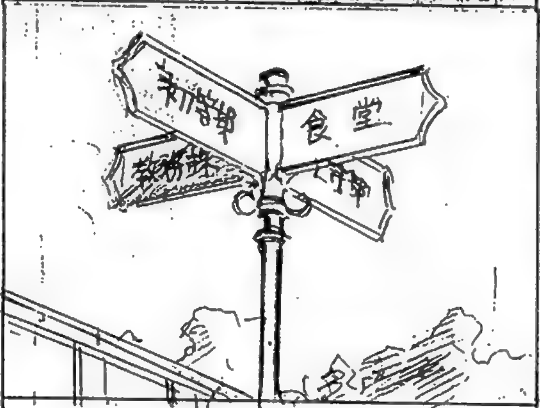
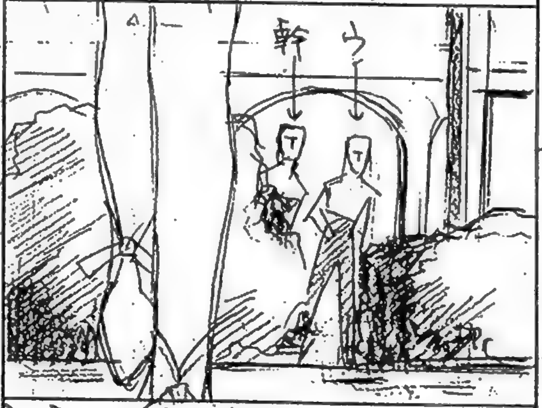
JL STAFF

S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
(99 欠番)		画面F.I (1+12)	ウテナ(OFF)		
100		通常の生徒達 BANK (#1 2-1) 朝景	え――!? 王子様が出たぁ!?	3+0	SE 登校ノイズ
101		ボーとした七実 歩いている (前cutに寄った感じのレイアウト)	幹(OFF) はい: なんでも 危機一髪の 所を助けられたとか.... / 手下たち(OFF) 「おはようございまーす」	3+0	
102		心ここにあらずの七実. ハンカチを握りしめている / 奥を過ぎて行く手下たち. 無視された。	ウテナ(OFF) カッコイイなぁ… 僕そう云うの憧れちゃう….	3+12	

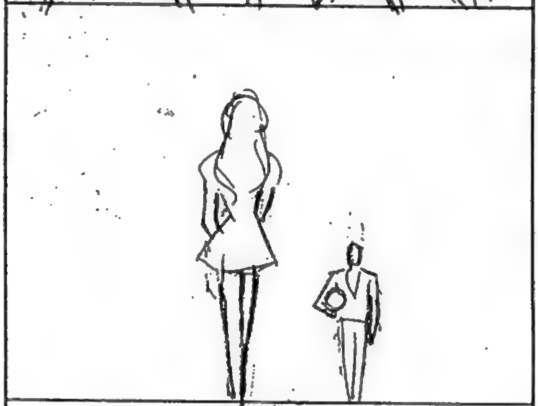
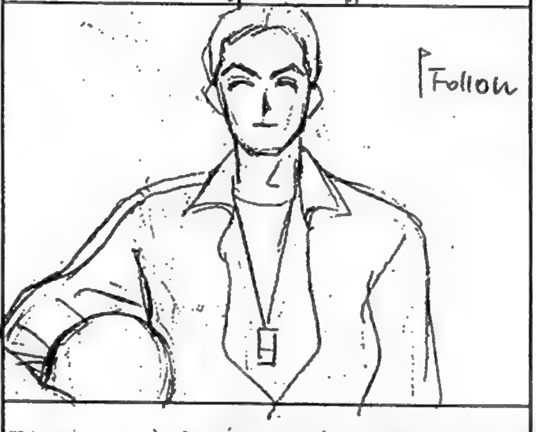
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	103		七実の手の中に 謎の男のハンカチ (教室の机上) ちょっと指の動き	授業中の教師(off)	4+0	
	104		七実。 うーん止X	七(M) 「石蕗 ……誠……」	4+0	
	105		授業中の教室。 ひとり窓の外を見ている七実。 ぼんやり…… 止X	幹(off) 「でもその王子様謎なんですよ」 内(off) 「謎?」	5+0	
もう少し装飾のイメージなので廊下とはちがう	106		ここよりウテナの想像 PAN DOWN ハンカチで七実の傷の手当てをしている謎の男 止X	謎 「いけない。血が出ている。見せてごらんなさい」	6+0	

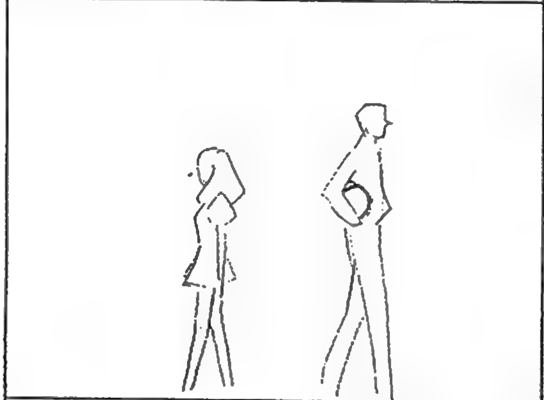
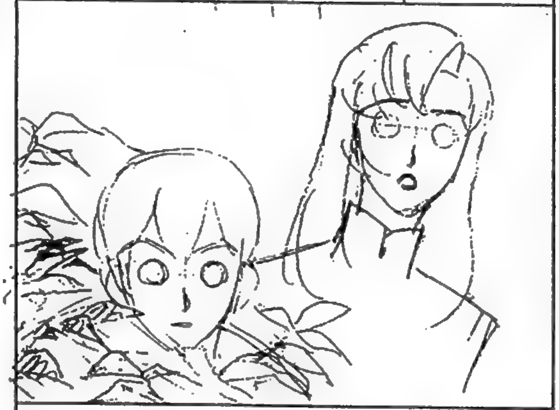
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	107		ハンカチが 七実の手に 巻かれている。 OLで 謎の男 が離れる。	(謎)(off) 「これでよし。 もう大丈夫です」 (七)(off) 「あ、ありがとう ございます」	5+12	
	108		七実、瞳キラキラ SLOW PAN	(七) 「あ、あの…！」	2+0	
	109		七実と謎の男 ムーヴのスライド	(七) 「せめて お名前を」 (謎) 「名乗る程の者では ありません」	3+12	
	110	 窓ワクの影	去って行く 謎の男。 (ムーヴ) PAN UP (3+12)	(謎) 「また何処かで逢う こともあるでしょう。」		

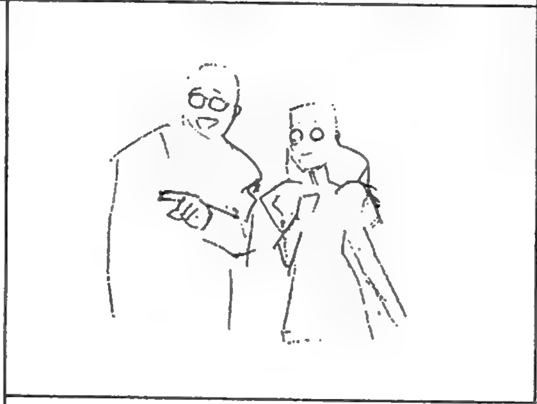
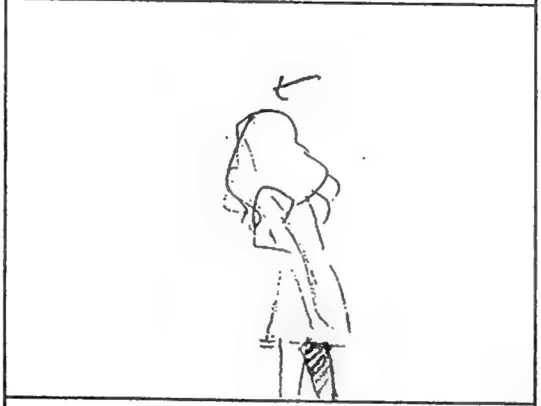
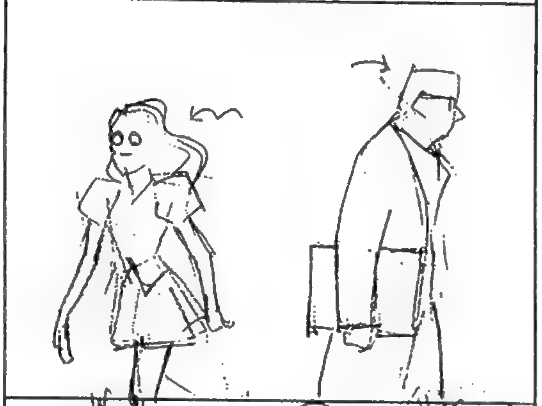
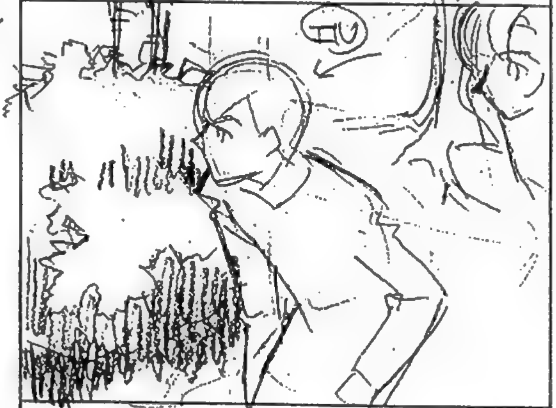
JC STAFF

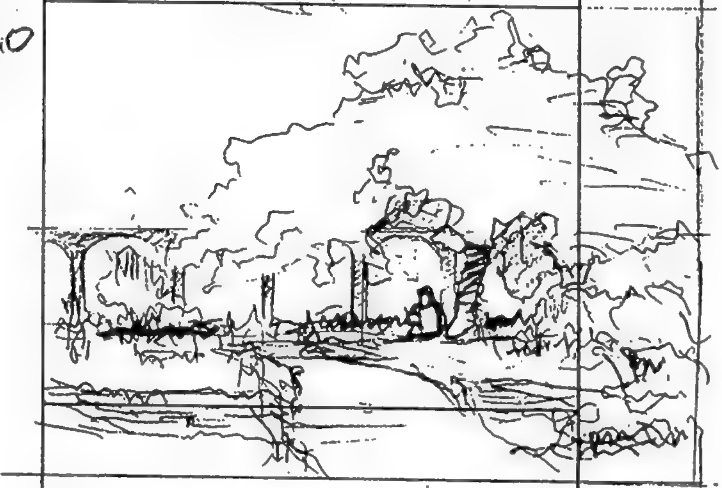
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			去って行く (マスク小さくなる) (ウテナの想像 ここまで) (6+0)	(謎) 「グッドバイ、お嬢さん」 (ウ)(off) 「名前も告げずに立ち去るなんざ。クーーッ、イカス」	9+12	
	111		夕景 案内板	(幹)(off) 「しかし、七実クンのお眼鏡にかなう王子様なんて、この学園にいるハズないと思ってたんですけどねえ」		
			手前を腑抜けた顔の七実が行く		7+0	
	112		七実(BGマルチ+リピート)の足なめて、奥にウテナと幹	(ウ)(off) 「理想、高そうだもんねえ。彼女……」	3+0	
			七実のあとをつけている感じの幹とウテナ			

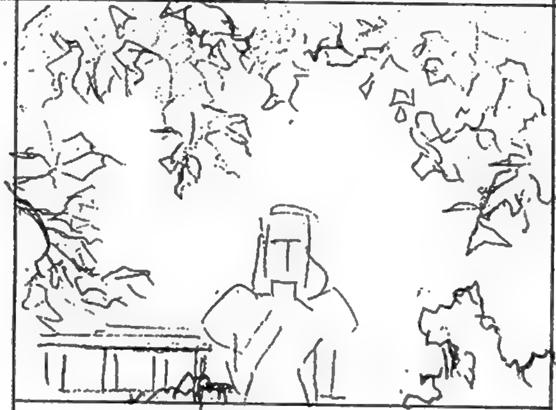
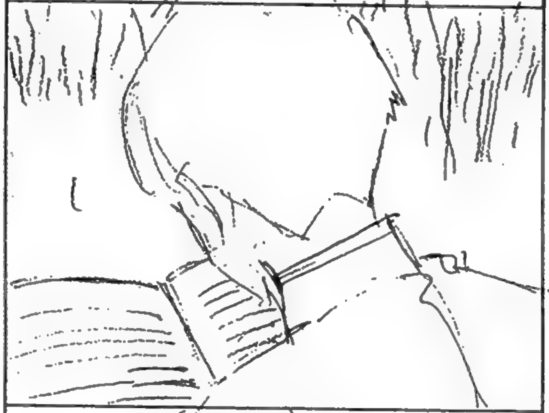
JLSTAFF

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	113		歩いて行く七実。(リピート＋望遠風のレイアウト)			
			七実の足元を初等部低学年のチビちゃんたちが駆けぬける。	(初等部の生徒たち)「ワーイ(アドリブ)」		
			と、奥にジャージ姿の男が歩いている。(もちろんリピート)	ウ(off)「あ！」	5+0	
	114		爽やかな青年体育教師。	ウ(off)「あれが彼女の王子様？」 幹(off)「七実くん、やはり年上好みだったのか」	5+12	
	115		近づいて行く七実と体育教師。			

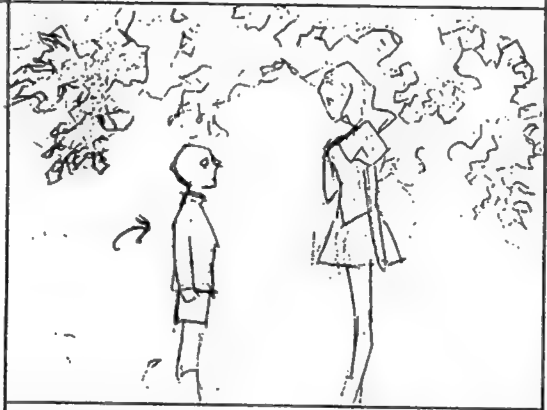
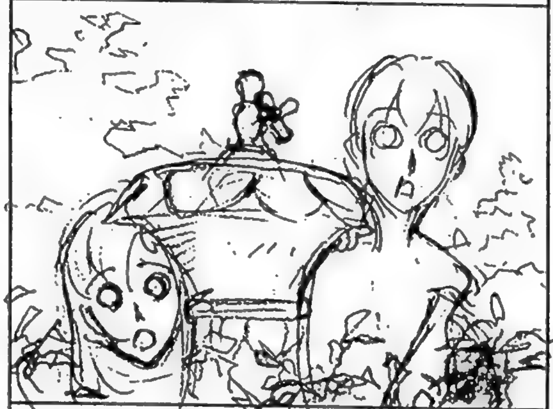
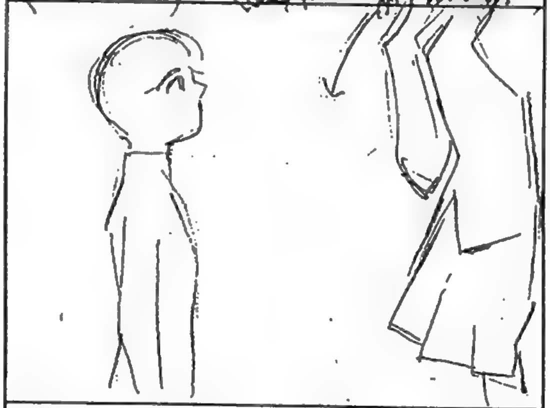
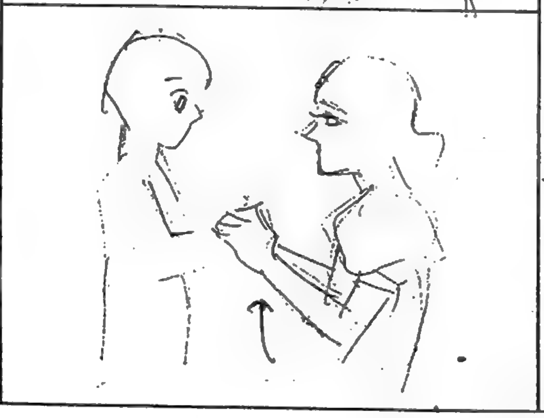
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			あっさりと(何事もなく)すれちがう。		2+12	
	116		「なんだ」の幹とウテナ、植込みの陰。(108に寄った感じのポジション)	ウ「なんだ。ちがうのかい…」		
			「おっ」となる幹とウテナ。	幹 ウ「お!?」	3+0	
	117		数学教師風の白衣の初老の男に話しかけている七実。	幹(off)「七実クン、渋い…」		

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			指さして何事か教える白衣の男			
			おじぎしつつ、			
			小走りで行く七実.	(内)(off)「…んなワケ、ないか…」	5+0	
	118		かくれながら後を追う幹とウテナ			
			中腰で小走り(リピート+スライド)		2+0	

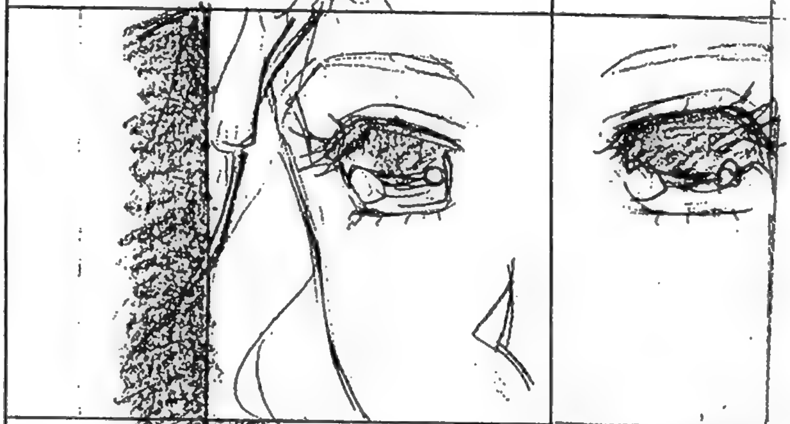
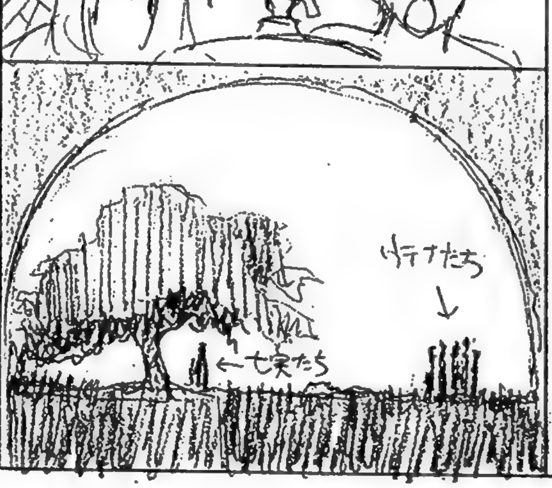
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	119		小走りの七実… いよいよ目標が近づいたのか？		2+0	
	120		木の下に座して本を読んでいる少年。 TU		4+0	

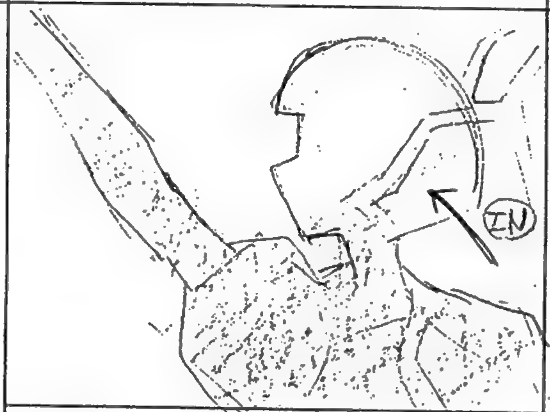
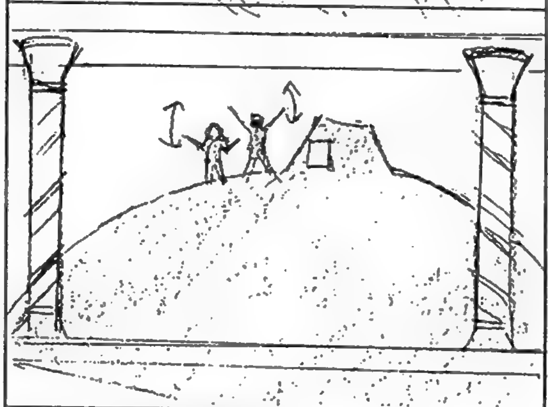
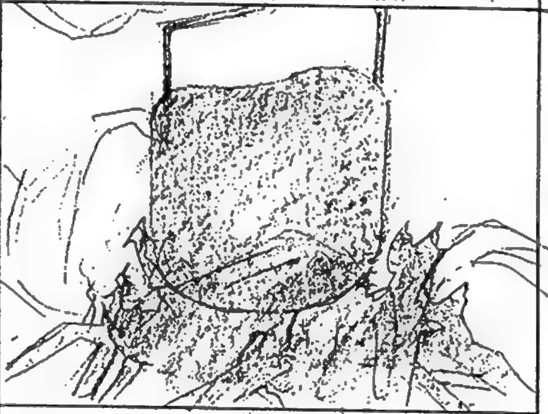
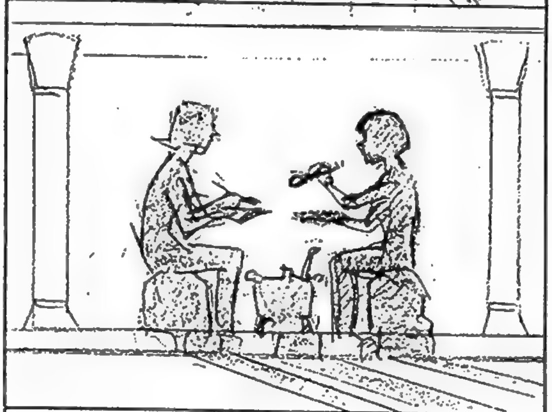
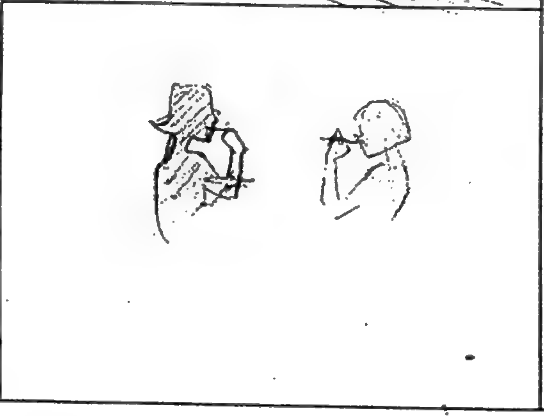
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	121					
	↓		胸の高鳴りを おさえつつ、 歩いて来る七実、 静かに立ち止まる。		5+0	
	122		フカン。 本を読んでる 少年。	㋣(off) 「石露、誠くん？」		
	↓		振り返る。 ←果して どんなデザインに なるのか？			
	↓		はにかんだ ように返事を して。 A	誠 「はい」	5+0	

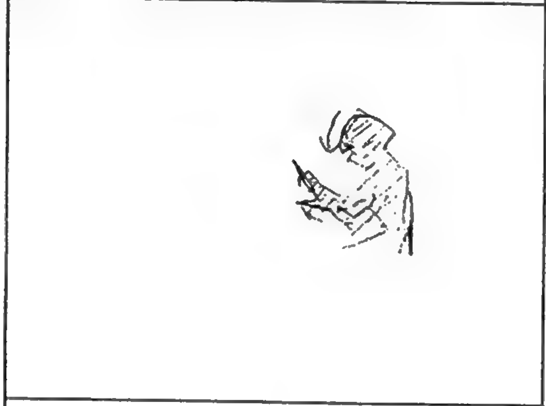
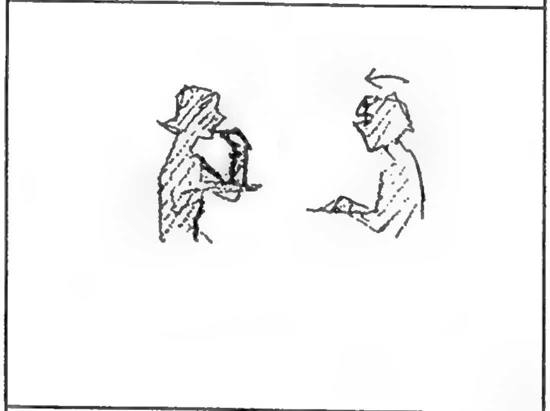
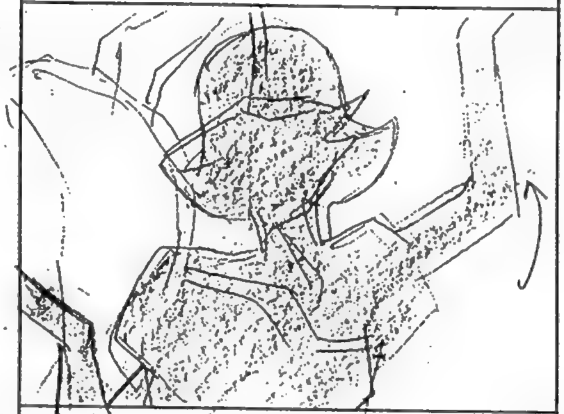
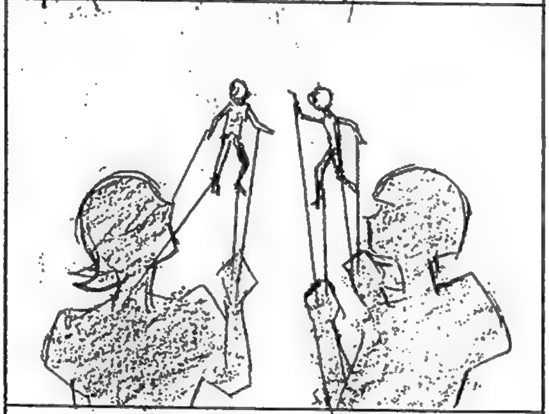
A C

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	123		立ち上がる誠(初等部の制服) 見詰める七実.		2+12	
	124		物影から のぞいている幹と ウテナ.	(幹)「ええっ!」 (ウ)「あんな小さな子が、彼女の命の恩人…?」	4+0	
	125		誠の前にヒザをつく七実.			
	↓		ハンカチを差し出す.	(七)「これ、ありがとう」		
	↓		受け取ろうと出した誠の手をつかむ七実. (目は誠を見たまま) ▽ O.L(1+0)		6+12	

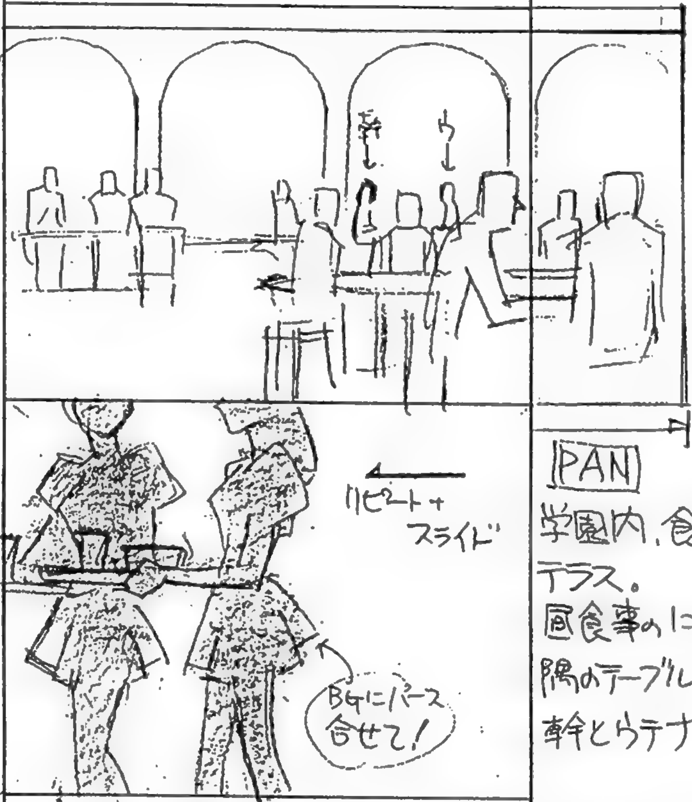
キリ

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	126		△(1+0) 誠と七実.	㊆ 「石蕗くん、お願い ……私と交際 して」	5+0	
	127		おどろく誠	誠 「え…?」	1+12	
	128		うるんだ瞳の 七実.		1+12	
	129		驚くウテナと幹、 いつのまにか 手下たちも居る	ウテナたち 「えぇ〜〜！」	2+0	
	130		アーチ越しの ガーンの絵.	SE ガ〜〜ン	4+0	

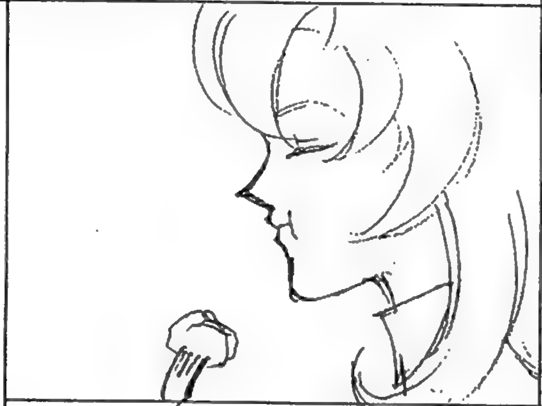
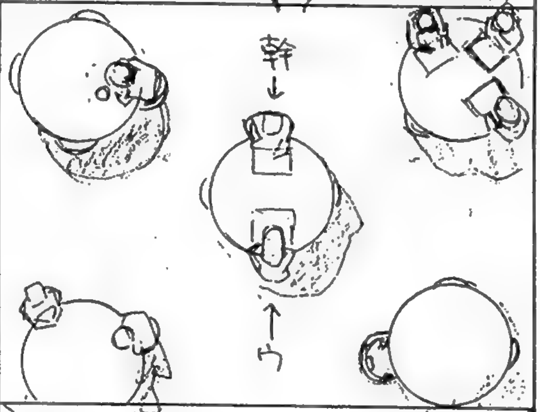
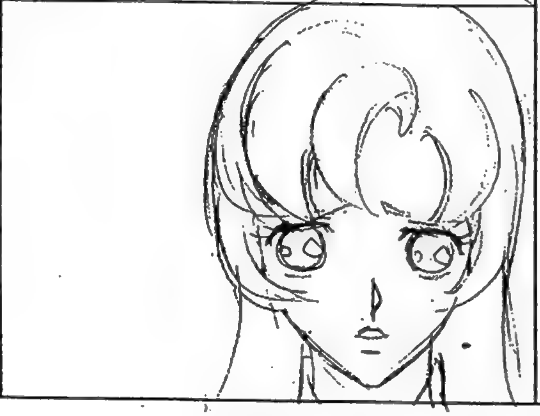
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	131		影絵少女A子	影絵少女A子 「キャンプだ!」	1+12	
	132		山頂のテントの脇で万歳する影絵少女A子とB子。(切り絵風) 	(影A子) 「キャンプだキャンプだ嬉しいな♪」 (影B子) 「キャンプの醍醐味と言えば、やっぱり飯盒炊さんとカレーよね。」	7+0	
	133		たき火の上の飯盒。 火も影。	(影A子 B子)(off) 「ぐつぐつぐつぐつぐつぐつ…」	2+12	
	134		影絵少女A子とB子。 向い合って食事	(影A子・B子) 「いただきまーす」 (影A子) 「そうそう。このご飯! シンが残って固いし」		
			A子ひと口食べて、セリフ。 B子食べ続ける。	(影B子) 「そのくせ焦げてる所もあるし」		

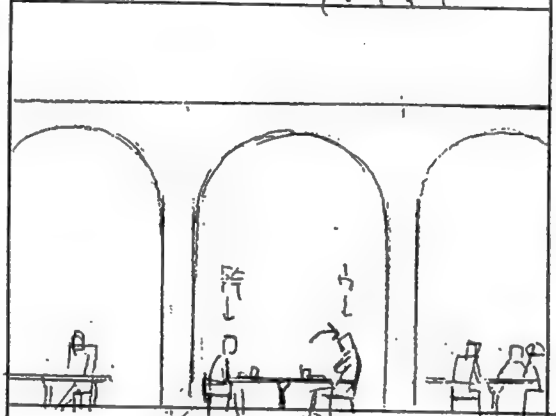
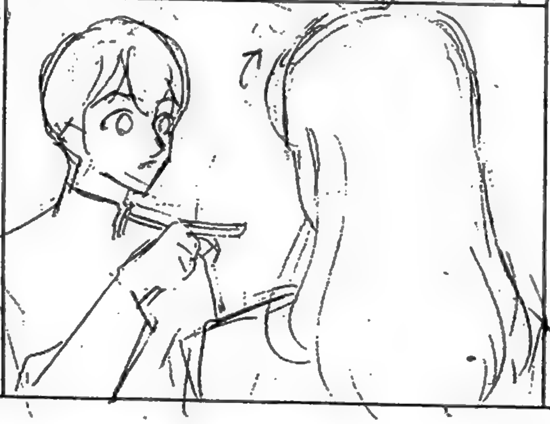
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			A子、皿の上のカレー見る。	影A子 「なのにカレーはルゥが足りなくて水みたい！」		
				影A子 「…アンタ、ホントに美味しがってる？」	14+0	
	135		B子 オーバーなポーズ。	影B子 「やあね、このおいしい空気が何よりの調味料よ」	4+0	
	136		影絵人形を操作している影絵少女A,B子	影A子.B子 「ごちそうさまでした」	3+0	
		アイキャッチ			10+0	

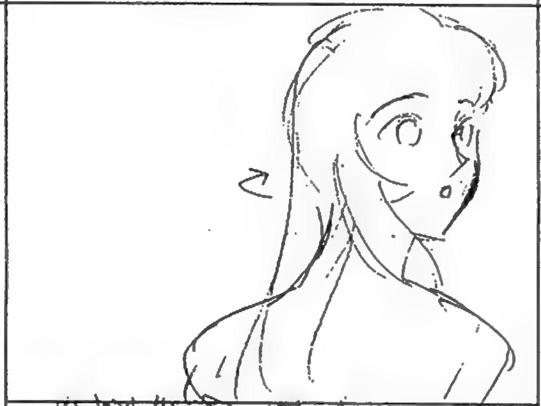
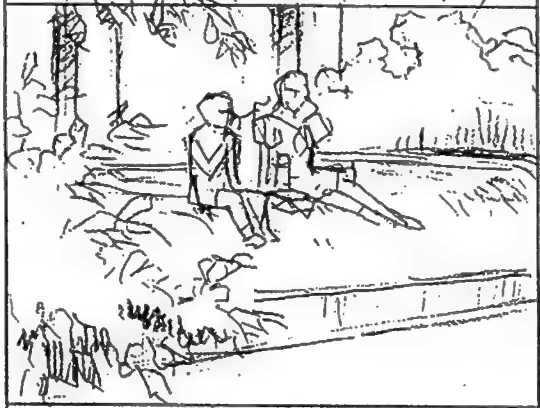
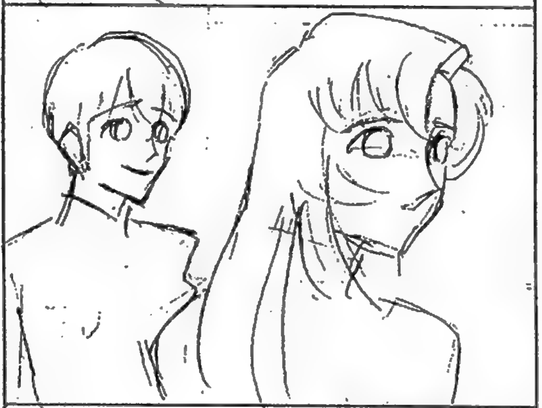
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
		#8 Bパート 156カット 643+12K				

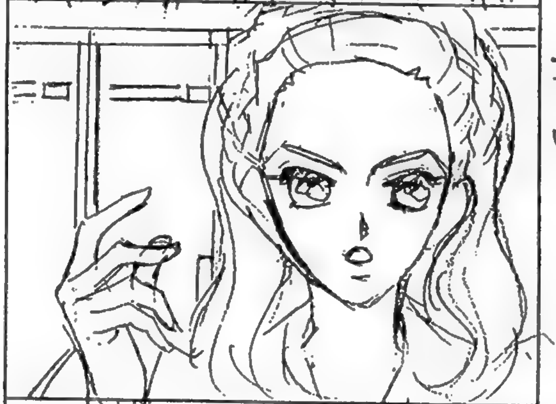
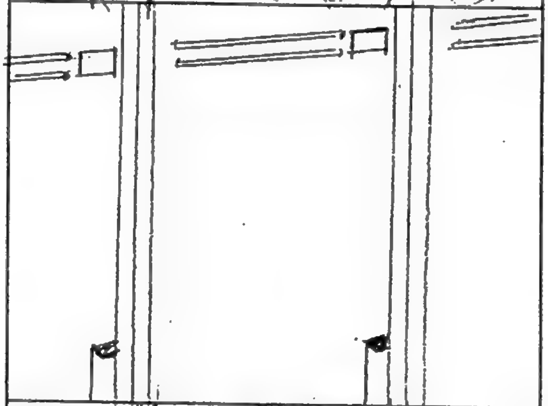
S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	アイキャッチ	以後Bパート		10+0	
137		BG兼 C−20 PAN 学園内、食堂のテラス。 昼食事のにぎわい。 隅のテーブルに幹とらテナ	生徒たち ガヤ	4+0	
138		もぐもぐ食べている幹。	(幹)「なかなかいけますよ」	2+0	
139		幹の方へ身を乗り出すらテナ。 (テーブルのサイズに合せて、もう少し引いたポジションで)	(ら)「学食の話じゃなくて、七実の話！」		

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
				小学生に交際申し込むなんて……」		
			幹、フォークをおろして。	(幹)「本気のハズないですよ」	8+12	
	140		幹。	(幹)「アイツの本命は冬芽先輩だけなんだから」	3+12	
	141		ウテナ。	(ウ)「生徒会長?!」	2+0	
	142		幹 140同ポ	(幹)「あ…… マズかったかな」	3+0	

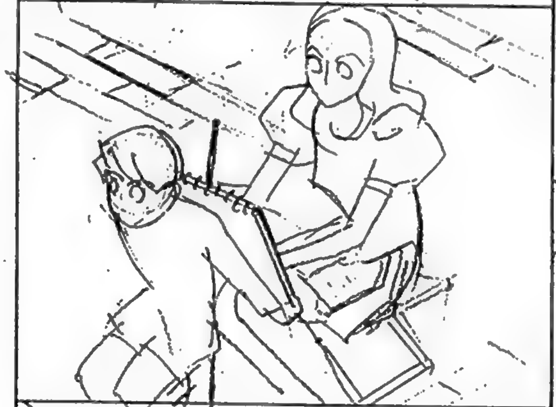
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	143		もぐもぐ食べているウテナ。 141同ポ	(ウ) 「そんなこと ないよ」	2+0	
	144		幹とウテナ。 139同ポ	(幹) 「いや・・・ 学食の話じゃ なくて・・・」	3+0	
	145		真フカンで テラスのテーブル。 中央に幹とウテナ。	(ウ)(off) 「兄妹だよね、 七実と生徒会長 って」 (幹) 「お兄ちゃん子なん ですよ、結局。 世界で一番の男が 側に居るンだから、 彼女にとって男は 冬芽先輩だけ。 他は全員カス同然。 なんです」	16+0	
	146		ウテナ。	(ウ) 「カス？」	2+0	

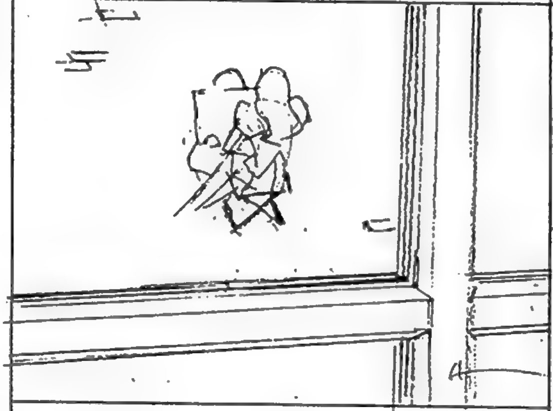
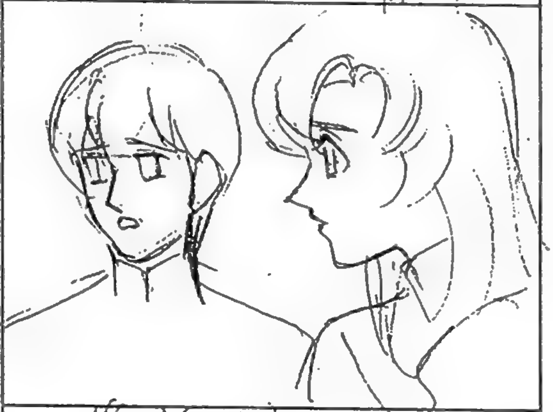
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	147	 	幹. パセリ示す.	(幹) 「カスです。 おまけです。 パセリです。」	4+0	
	148		腕を組んでイスにもたれかかるウテナ. ちょっと間	(ウ) 「う〜ん」 (幹) 「でも今回の事件、かなり応えているみたいですよ。唯一絶対の兄に裏切られたって」	10+0	
	149		ウテナ.	(ウ) 「思い込み激しいからね…、彼女」	3+0	
	150		幹、画面外を指さしている。 (アクション不要) 顔を上げるウテナ。	(幹) 「天上センパイ、あれ」 (ウ) 「え…」		

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	↓		振り向く。		4+12	
	151		七実と誠が仲良くお弁当を広げている	(ウ)(off)「ニ、交際してる!?」	3+0	
	152		見ている幹とウテナ。 150 同ポ	(幹)「カップルというより、姉弟(きょうだい)にしか見えませんね」	4+0	
	153		何やら楽しそうに語り合っている七実と誠。(構図は七実を中心に。—— うまく決まるか…?)	(ウ)(off)「本気なのかな、…七実」	4+6	
	154		校内に鐘がひびく。 (BANK #1)	(SE)(鐘)	6+12	

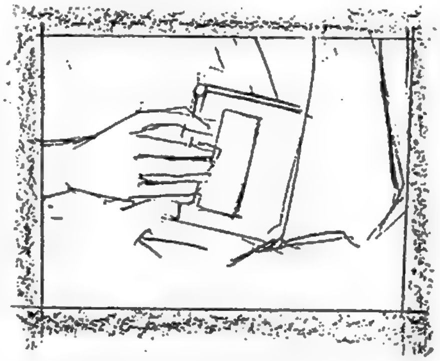
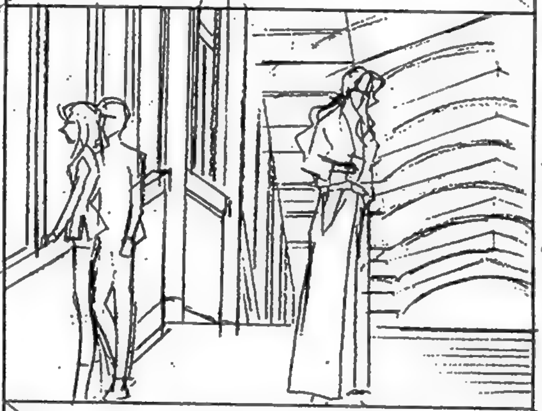
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	155		光の透けたカーテンの前で、着替え中の少女たち（シルエット） （更衣室のイメージ）	少女(あ) 「ねえ、今日の体育、テニスなんだって」 少女(い)（実は七実） 「えー、私テニスウェア持って来てないわ」	6+12	
	156		指を鳴らして呼ぶ七実。	(七) 「石蕗」 (SE) パチン。	2+0	
	157		ロッカー。			
	↓		ドアが開くと、中にスポーツバッグをささげ持つ誠がいる。	(誠) 「テニスウェアでございます」	3+12	

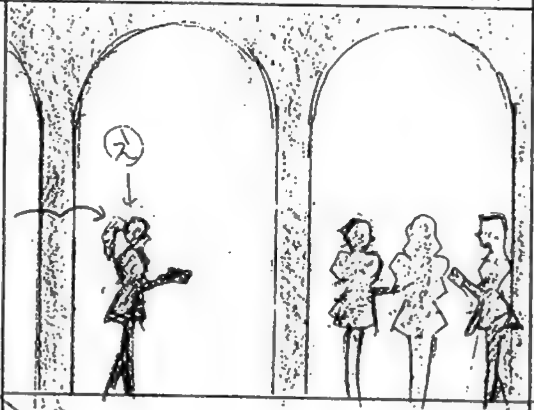
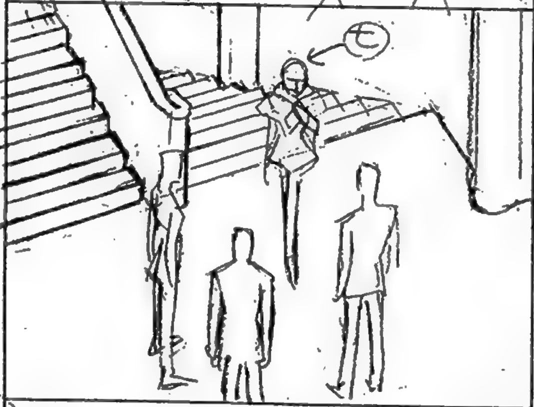
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	158		教室内、テスト中 少女たちのシルエット 窓の外は青空。 (セリフは小声か?)	少女あ 「ねえ、抜き打ちテストとは、反則よね」 少女い 「ホント、ルール無用って感じね」	5+12	
	159		指を鳴らして呼ぶ七実。 (BGは教室の後)	七 「石蕗」 SE パチン	2+0	
	160		机の下で本を広げている誠。	誠 「虎の巻でございます」	2+12	

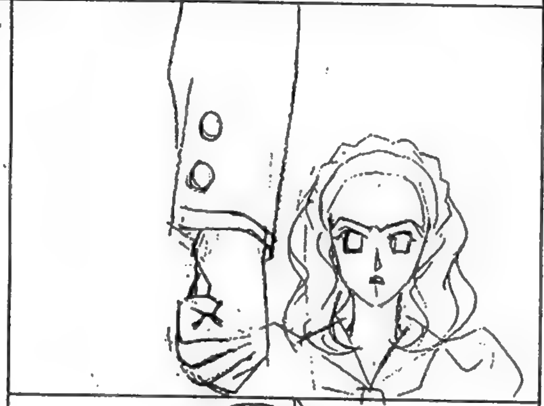
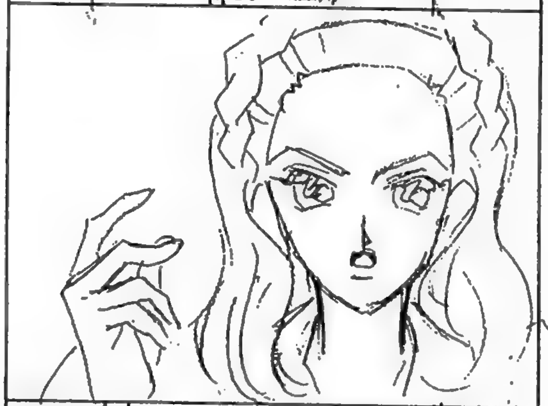
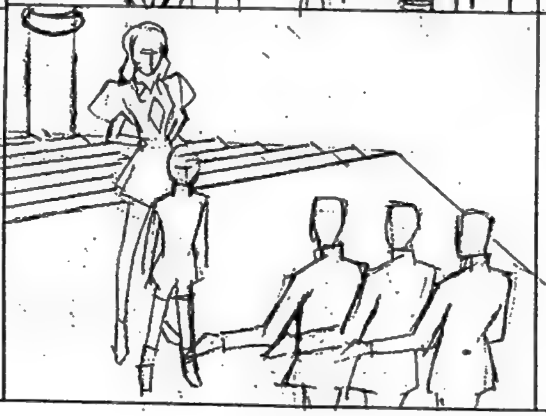
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	161		どこか、廊下のような所で話す少女たちのシルエット。	少女(あ) 「ねえ、今日の美術、屋外スケッチだって」 少女(い) 「え〜、私、イーゼル持って来てなーい」	6+0	
	162		指を鳴らして呼ぶ七実。	(七) 「石蕗」 (SE) パチン	2+0	
	163		自ら、イーゼルになっている試。 七実はスケッチをやりながらセリフ。	(七) 「明日のお弁当はミートボール入れて来てね」 (試) 「はい、喜こんで」	5+0	

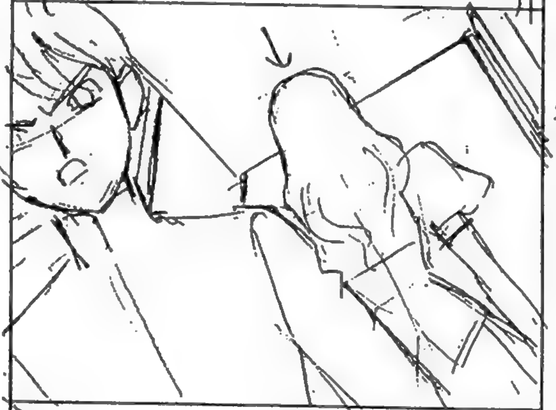
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	164		窓ワクなめっ 歩いて行く七実。 後に机を持って 従う誠。 (リピート)+(スライド) (段マルチ上段)	七(off) 「あれっていうの、 彼っていうの？」	3+0	
	165		見ている幹と ウテナ。	幹 「さあっ……」		
			2人の間に 西園寺が入って 来る。 (なぜか剣道着)	西園寺 「どんなに虐げられ ようとも、好きな人 のそばに居られる だけで嬉しい」	7+0	
	166		憂いに沈む 西園寺。 (前カットとの つなぎなし)	西 「それもまた愛の形 …… 愛にはさまざまな 形がある。 ちなみに僕とアンシー の愛は、		

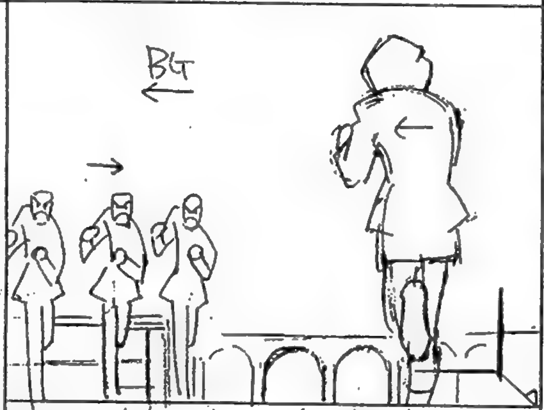
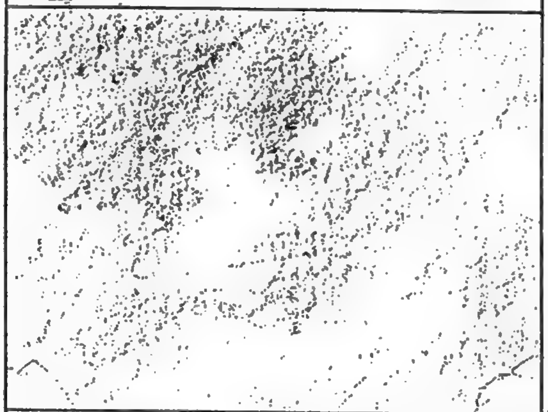
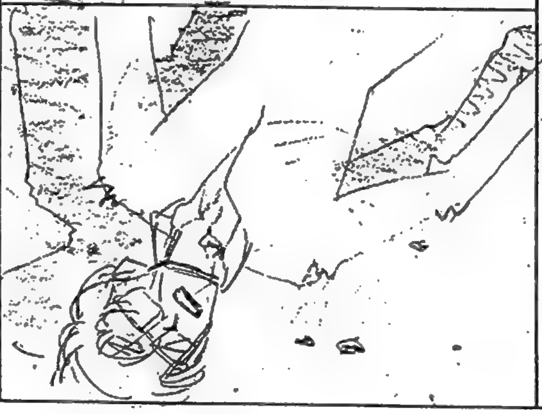
JLSTAFF

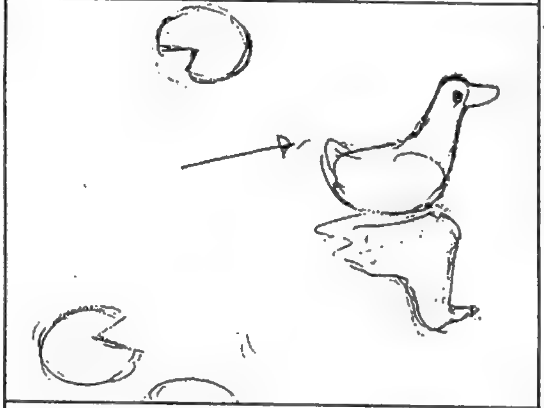
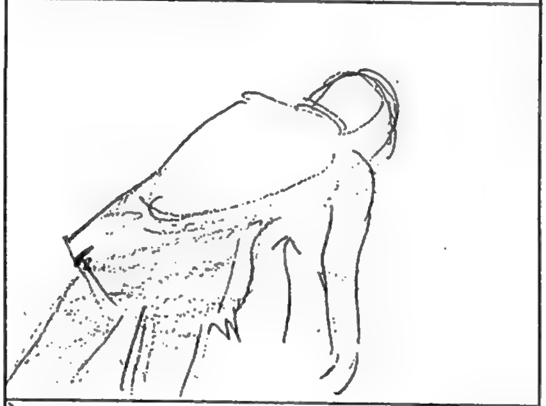
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			懐から交換日記を出す。	忍ぶ愛」	9+0	
	167		聞いてないウテナと幹。少し離れて立っている冬芽。少し間の後。ウテナのセリフ。無機質。	(ウ)「だれも聞いてないよ」	3+0	

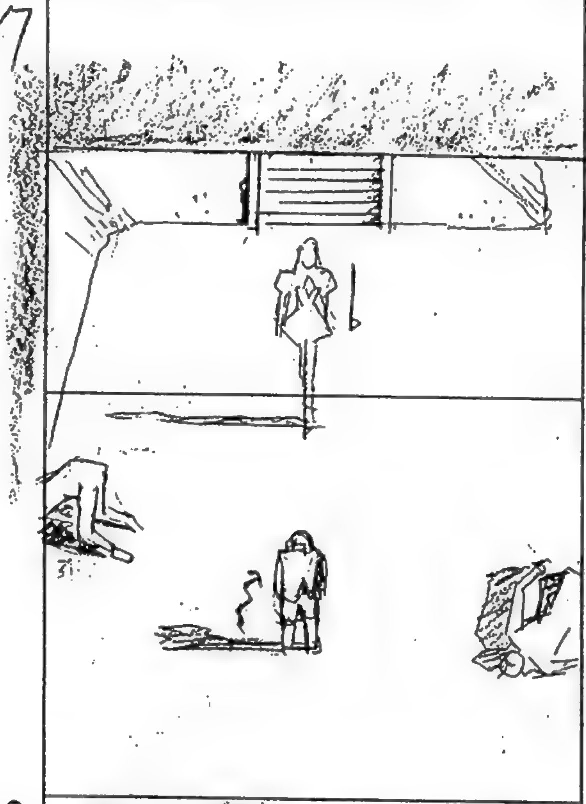
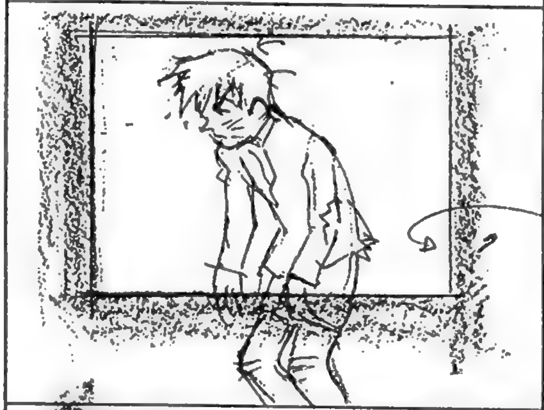
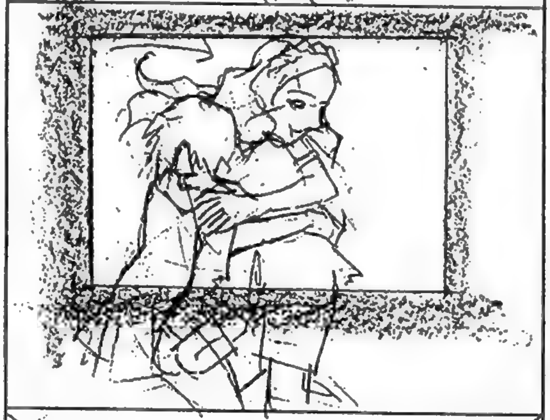
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	168		シルエットの少女たち、3人。 歩いて来る少女(え)	少女(あ) 「ねえ、これ鈴木クンに頼まれたんだけど」 少女(う) 「ねえ、山田クンが、読んでほしいって」 少女(え) 「ねえ、田中クンが……」 少女(い) 「えー、捨てといて」	9+0	
	169		鈴木、山田、田中の3人。 密着マルチのようなスライド	(鈴木) 「鈴木です」 (山田) 「山田です」 (田中) 「田中です」	4+0	
	170		鈴木、山田、田中に囲まれている七実。	(鈴) 「どういうつもりだ、七実君」 (山) 「僕たちとの交際を断っておきながら、あんな子供と交際するなんて!」 (田) 「僕たち中等部男子への当てつけか!」	10+0	

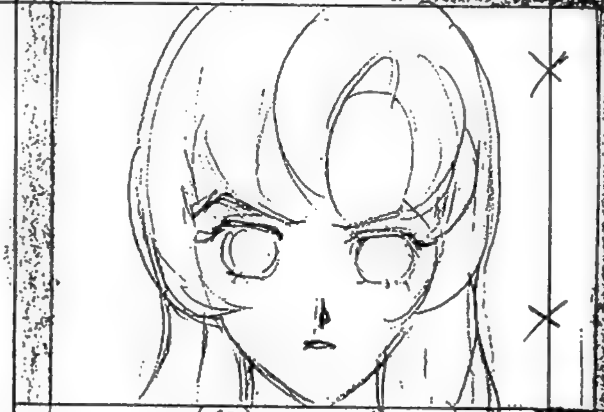
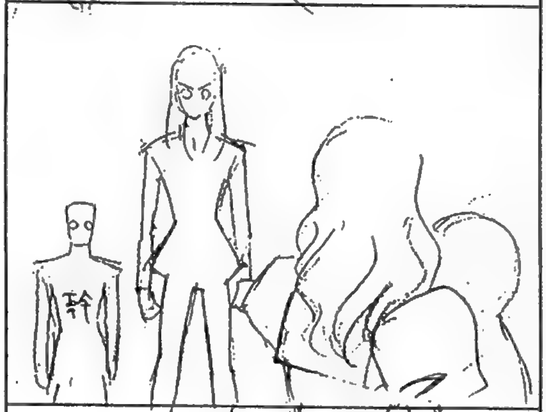
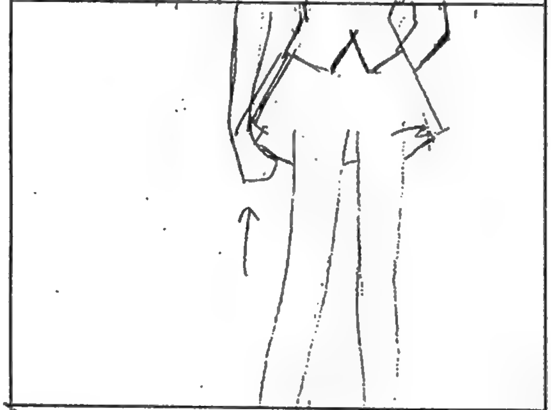
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	171		鈴木なめて 七実. いぶかる.	㋲ 「あなたたち・・・ ・・・・・・・・・・・ ・・・・誰?」	4+0	
	172		鈴木たち3人. 密着マルチのような スライド.	㊙鈴 「毎日君にラブレターを 書いている」 ㊙山 「僕たちのことを」 ㊙田 「君は忘れたと いうのか!」	6+0	
	173		指を鳴らして 呼ぶ七実	㋲ 「石蕗」 SE パチン	2+0	
	174		七実の前にスッと 現われる誠. (スライド)		2+0	
	175		ムード歌謡の バックコーラスみたい な鈴木たち.	㊙鈴 「出たな!」 ㊙山 「子供のくせに七実 君と交際するなんて 許せない!」 ㊙田 「ここで白黒つけよう じゃないか!」	7+0	

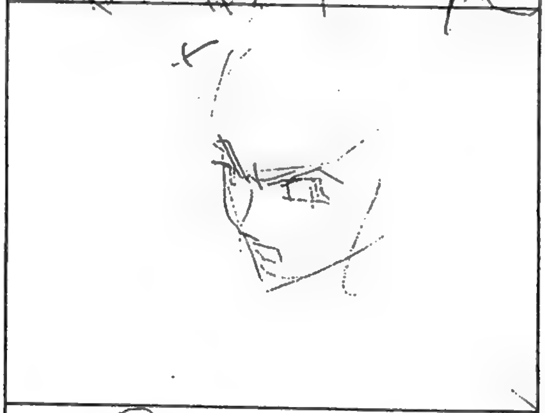
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	176		誠 (後はBGボケ、 もう七実はいない!)	(誠) 「僕は約束したんです。交際する以上は、七実さんを守り抜くと!」	5+0	
	178		誠なめ、 去って行く七実 (リピート+スライド) カット尻,間。	(七) 「石蕗、後は頼んだわよ」 (誠) 「はい、喜んで!」	5+0	
				(声先行) ↑		
	179	 	拳をかためて 突進する誠。	(誠) 「どりゃあああ」	3+0	
	180	 	突進する 鈴木、山田、田中。 手前から1人づつ スライド(IN) 1 2 3	(鈴) 「ドリャあああ」 (山) 「ミリャあああ」 (田) 「ソリャあああ」	(音程を変えて) 5+0	

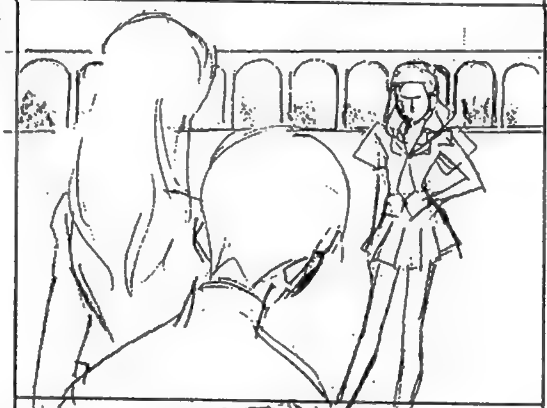
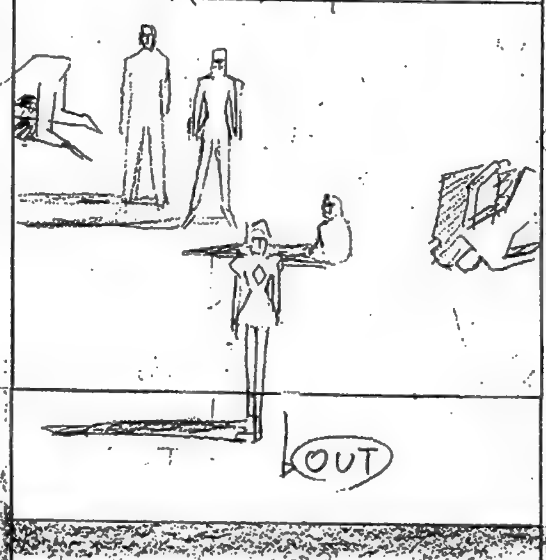
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	181		グラウンド 突進して行く、 誠。相対する 鈴木、山田、田中 (リピート＋スライド) TB	(誠)(男子たち) 「(気合)〜〜」	3+0	
	182		遠くを見ている 七実。 だが男子たちの 殴り合いを見ている わけではない。	(七) 「…… そういえば、 いいお天気」 (SE) (殴り合う音)	5+12	
	183	 	七実の後ろ姿から 嘘のような青い空へ。 PAN UP	(七) 「なあ青い …… なんて青い 空なのかしら」	6+0	
	184		夕景 倒れている 鈴木。 ボロボロ		2+12	

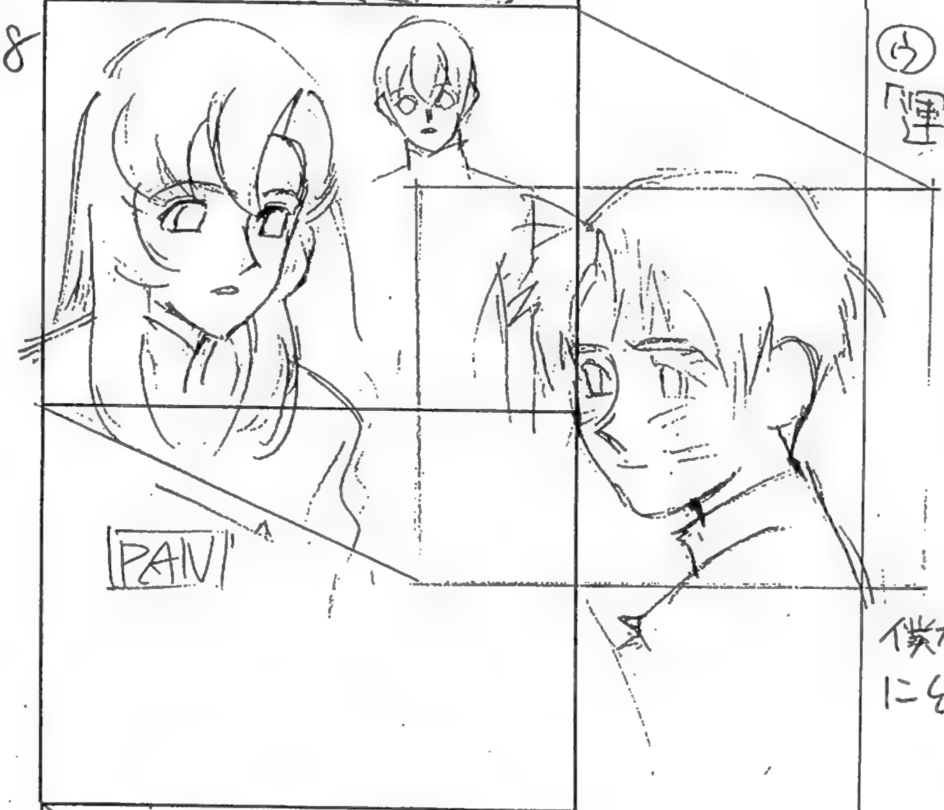
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	185		芝生の植った斜面に顔を突込んで、のびている山田。		2+12	
	186		どこかの水面 アヒルがスイーと行く			
			浮き上がって来る田中		3+0	

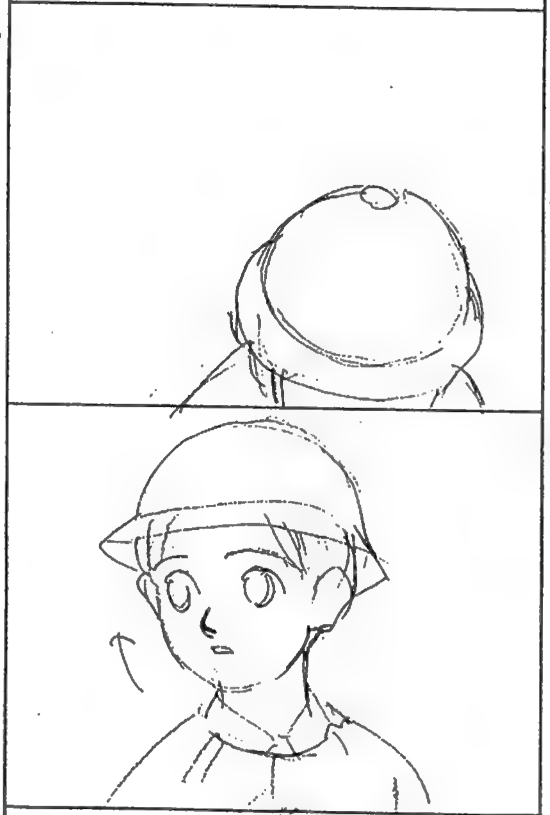
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	187		PAN UP FIX 2+0 PAN 2+0 ぐらいか。 よろよろと立ち上がる誠。 そこへ歩いて来る七実。		4+0	
	188		倒れかかる誠を、 このフレームで			
			ガバッと抱き止める七実。	(七) 「石蕗、よく頑張ったわね」 (誠) 「はい。ボク、七実さんを守れましたよね」	6+0	

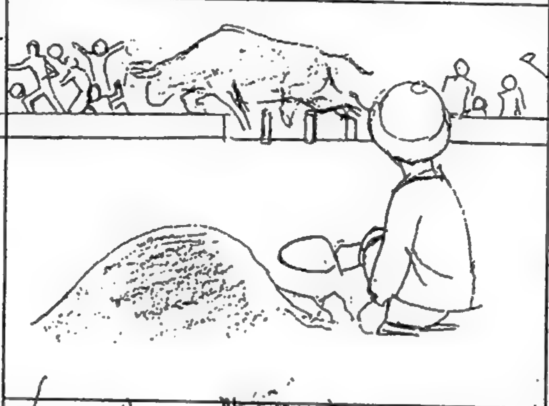
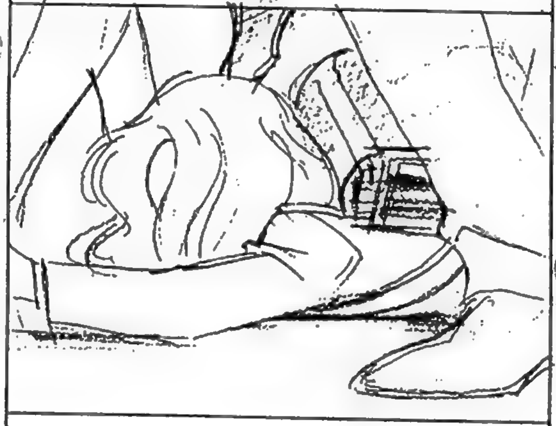
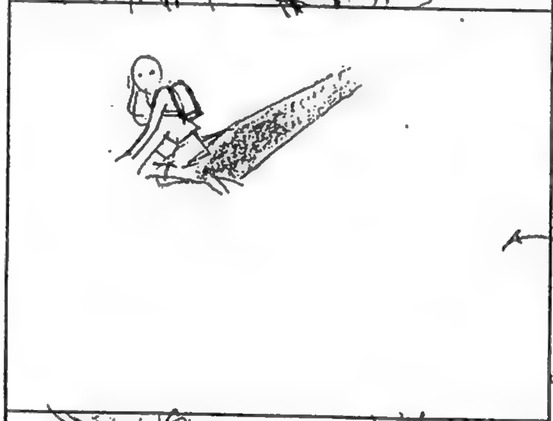
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	189		いきなりウテナ。	(ウ)「よく判ったよ、七実。君の真意が!」	3+12	
	190		七実、目にちょっと演技	(七)「天上ウテナ?」	2+12	
	191		七実と斜めなめて、ウテナ。奥に幹も来ている。	(ウ)「石蕗くんは君を守ろうと必死で戦っていたんだぞ!なのに黙って見ているだけなんて!そんなの本当の交際じゃない!君はボディガード代わりに石蕗くんを利用しているだけじゃないか!」		
	↓		立ち上がる七実。	(七)「私は殺されかけたのよ」	16+0	

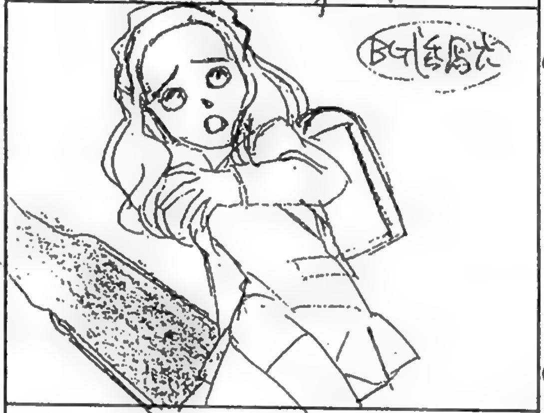
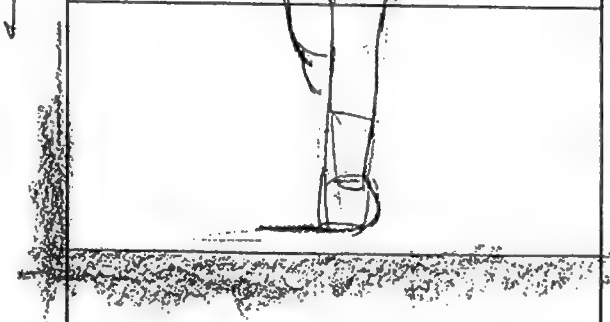
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	192		七実。。 見上げている誠	㊆ 「今までずっと 慕って来た実の兄に ……		
	↓			この気持ちが あなたに判って!?」	5+12	
	193		幹 説明しようと するが、 七実にさえぎられる	(幹) 「七実クン、それは 君の誤解…」 ㊆(off) 「誤解も十戒も ないわ!」	4+12	

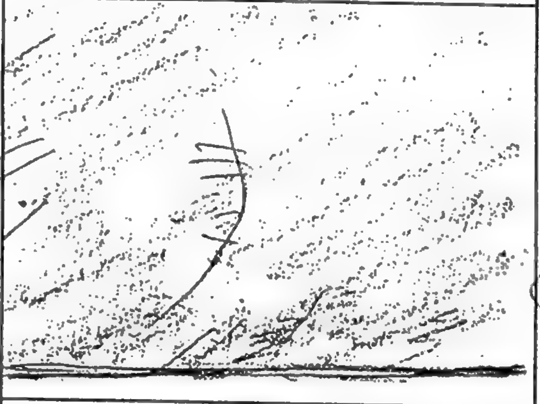
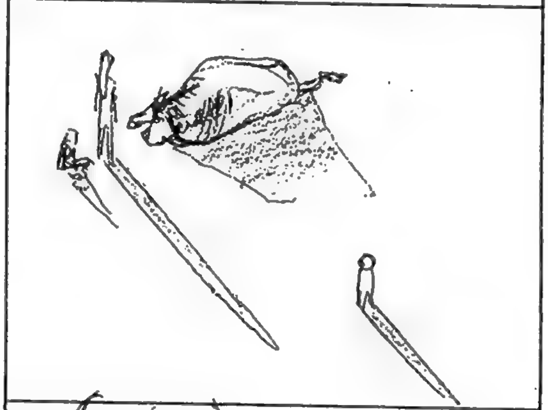
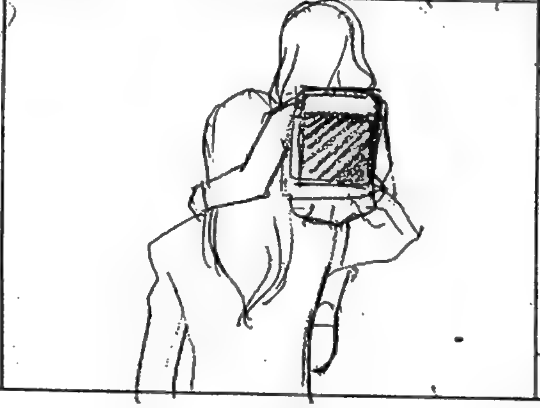
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	194			(七)(on→off) 「石蕗は私の彼なのよ。	2+12	
	195		見上げている誠の前を、 七実が歩いて行く。	どう扱おうと私の自由なハズよ!」	4+0	
	196		去って行く七実、 (OUT) 見送る 幹、ウテナ、誠。 ↑ PAN UP	(幹) 「…それって『彼』じゃなくて『子分』って云わないか?」 (誠) 「いいんです」	6+12	

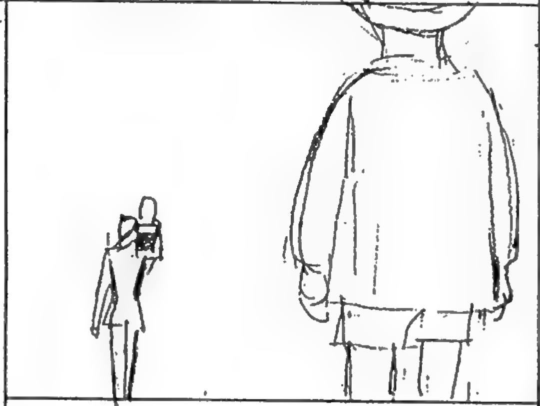
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	197			誠「僕が望んだ交際ですから」 ウ「石露くん、君は…君は一体どうしてそこまで彼女に入れ込むの？」 誠「運命の出逢いです」	11+0	
	198			ウ「運命？」 誠「七実さんは覚えてないみたいだけど、僕たちはもっと前に出逢ってるンです」	7+12	

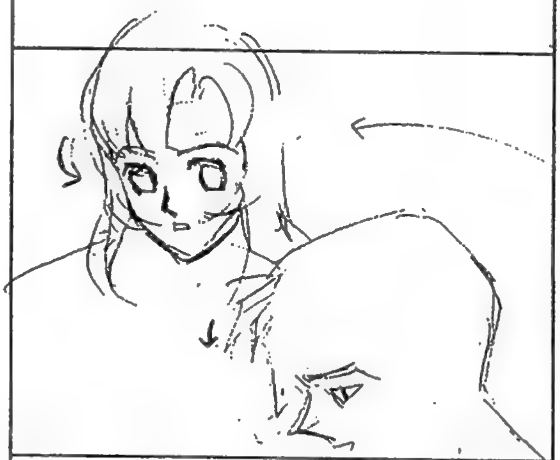
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	199		後足で立つ 暴れ牛 PAN UP	(声) 「暴れ牛だ!」 (声) 「暴れ牛が出たぞ!」	3+12	
	200		顔をあげる誠、 幼稚園のころ。		2+0	
	201		走る暴れ牛 Follow (前後に動いてサイズが変るリピート)		3+0	

S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
202		△白コマからW.F.I (0+8K) 空の暗部は透過光 砂あそびの誠。 その奥に牛と群集 止X		2+0	
203		△白コマからW.F.I (0+8K) 群集の足元にころげた少女 空間は透過光 止X	(七)「きゃ！」	2+0	
204		△白コマからW.F.I (0+8K) 荒れ牛 BG透過光 止X		1+12	
205		△白コマからW.F.I (0+8K) 路上の七実。 BG透過光 止X		1+12	
206		白コマからW.F.I (0+8K) BG透過光 止X		1+12	

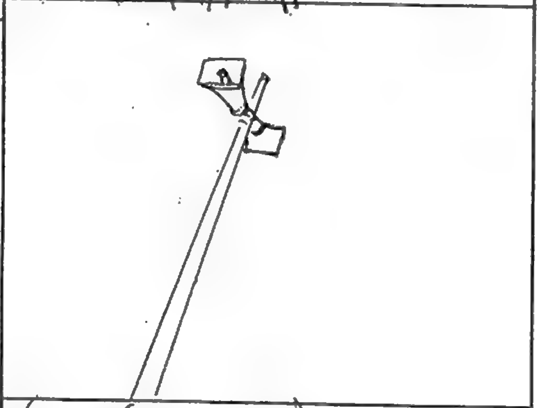
S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
207		△白コマからW.FI (0+8K) 牛の足 (BG透過光) (止メ)		1+12	
208	 	△白コマからW.FI (0+8K) ランドセルを背負った初等部のころの七実 (止メ)	(七) 「ああ!」	2+0	
209	 	走る誠 (リピート) PAN UP	(誠) 「あぶな――!!」	2+12	
210		△白コマからW.FI (0+8K) 立ち止まっている誠。	(誠) 「あっ」	3+0	

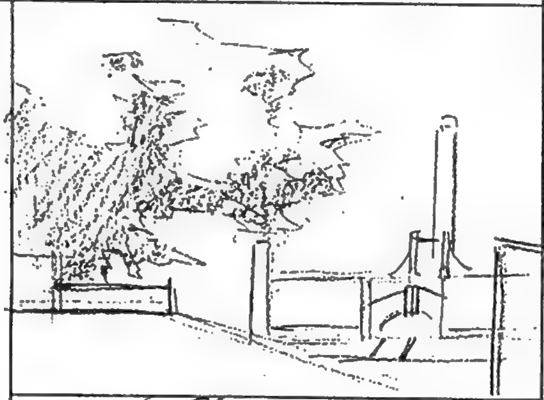
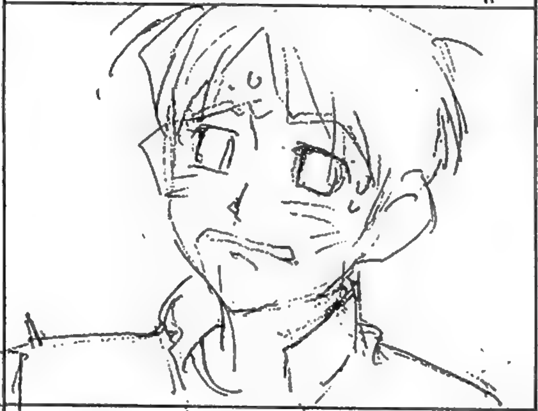
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	211		くずれ落ちる 牛の巨体 画面ブレ		4+0	
	212		倒れている牛と 七実の間に冬芽が 立っている。 見ている誠。		3+0	
	213		冬芽、ひざをついて 七実にたずねる。 （冬芽の動きは、 前cutとつなぐ必要 ナシ。絵のおさまり 良い所から止メナシ でスタート）	㊅ 「大丈夫かい、七実」 ㊆ 「お兄様…」	6+0	
	214		(0+18k) 七実を肩に乗せて 去って行く冬芽。 （リピート）	㊅ 「さあ、帰ろう」	3+0	

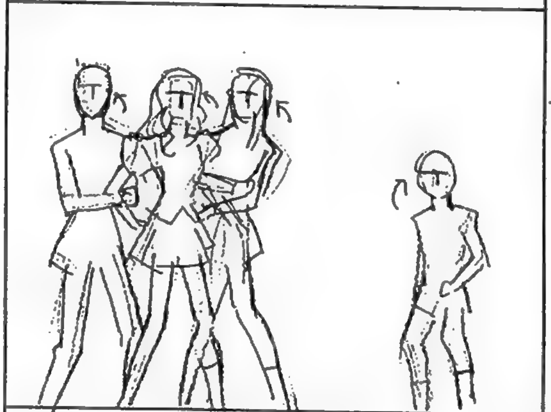
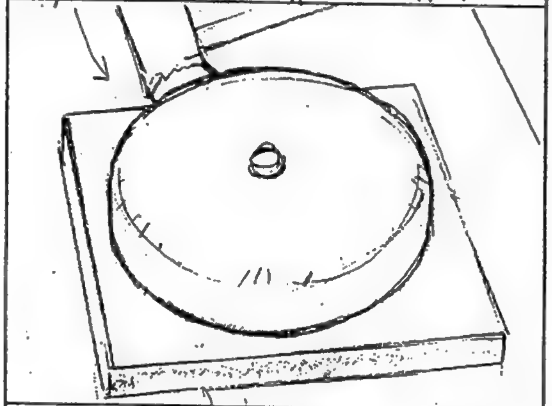
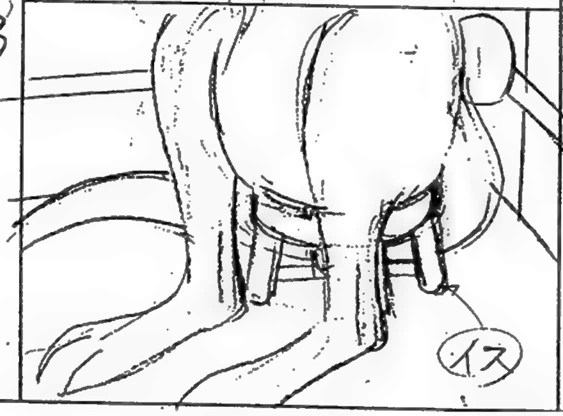
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	215		去って行く冬芽と七実（リピート）見ている誠。 (0+18K)		3+0	
	216		惚けた顔の誠 (2+0K)	誠「か、かっこい〜〜い」	5+0	

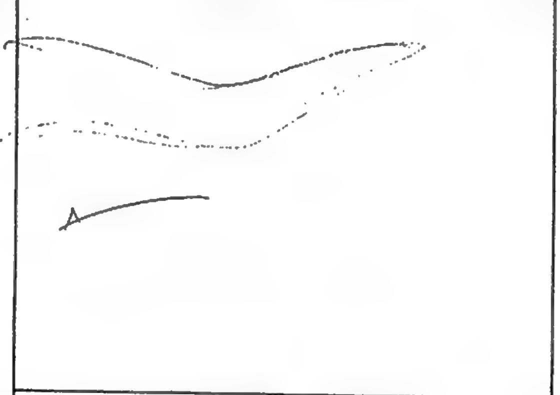
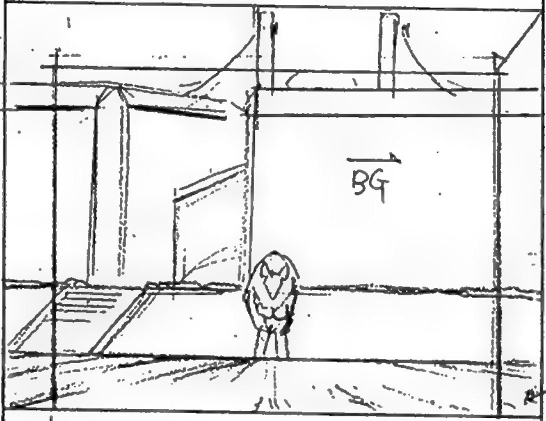
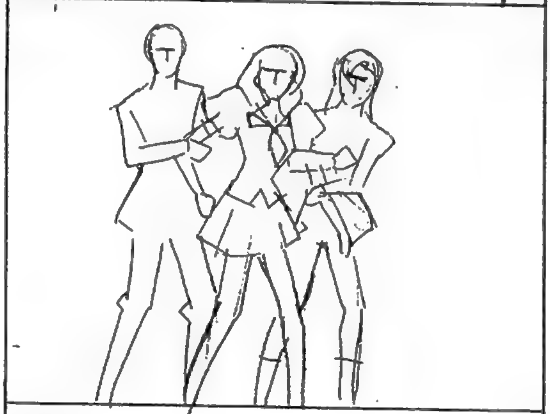
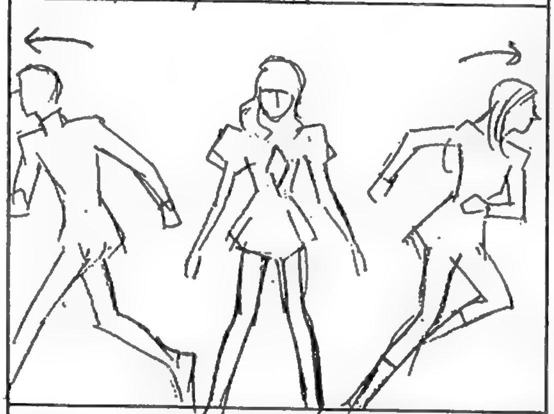
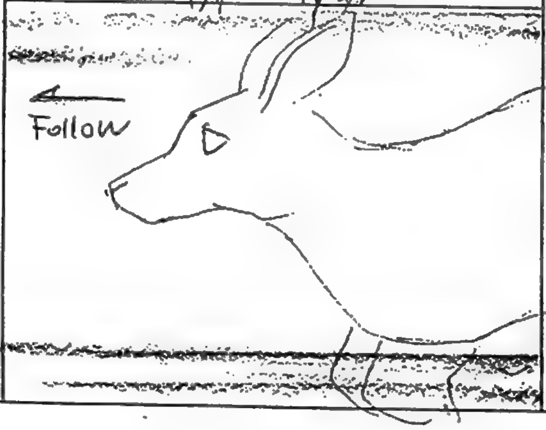
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	217		遠くを見ている" 誠 PAN・UP (カット頭 8+0 (3'')) ア然とするウテナ	誠 「以来、僕はあの男性のようにカッコイイお兄さまになるべく、ずっと修行を続けていました。そしてついに舞台は整ったのです!」 ウ 「…君、彼じゃなくてお兄さんになりたかったの?」		
				誠 「だけども実さんは僕のことを覚えていなかった。思い出して貰えるように、出逢いを演出したのに」 ウ 「…演出?」		
			カット尻 立ち上がる誠。 手に植木鉢を持っている	誠 「こうなったら仕方がありません。もう一度危ない目に逢わせるしか……」	27+0	
	218		幹 青ざめて。	幹 「ち、ちょっと待て!」	2+0	

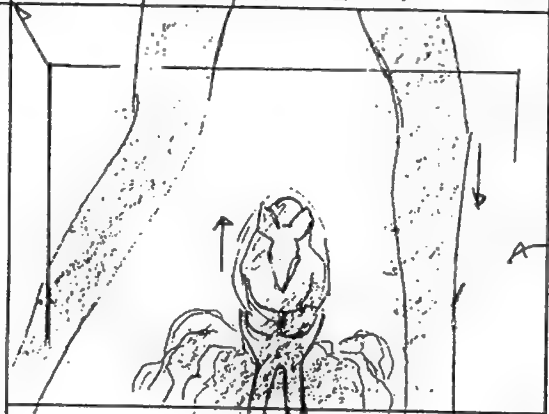
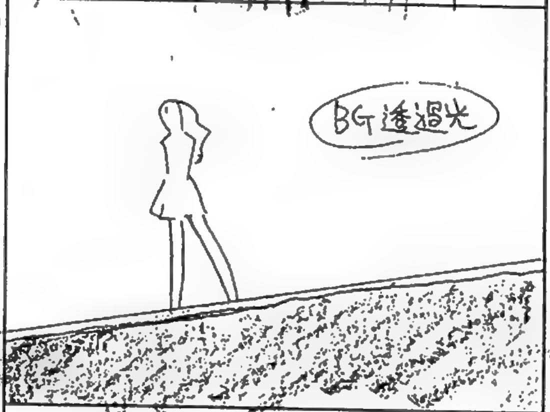
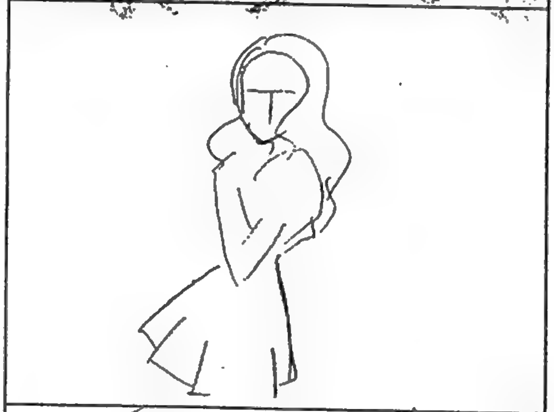
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	219		驚いているウテナと幹。 植木鉢をもっている誠。	誠 「はい？」 ウ 「もしかして、植木鉢落したり、材木倒したり、階段から突き落したりしていたのって…君？」	7+12	
	220		誠、平然としている。	誠 「はい！危機一髪で駆けつける。		
				それがお兄様の正しい姿ですから」	6+0	
	221		どこかで盗聴している七実。 後でテープのリールが回転している。 青パラ 段マルチ	誠(off) 「もちろん、こんな事七実さんには聞かせられませんけど」 七 「つまり、自作自演だったってワケね」	7+12	
	222		誠のすぐ目前に座っている七実。 のけぞる誠。	誠 「うわっ」	2+0	

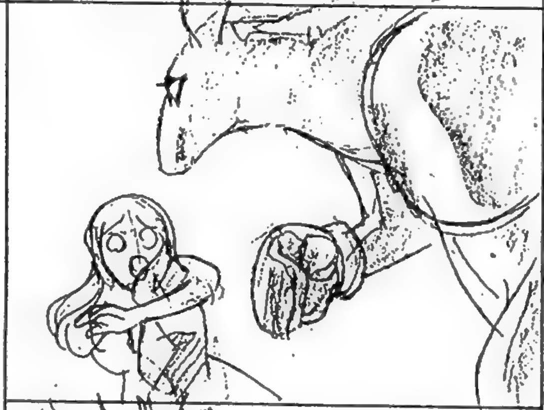
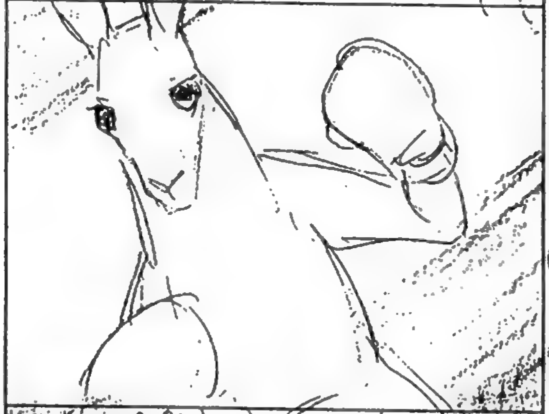
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	223		ヘッドホーンをはずしながら立ち上がる七実!	(七) 「話は全部聞せて貰ったわ」		
			後ずさる誠。	(ウ)(off) 「怒らないで!」	5+0	
	224		七実をなだめるリテナと幹。 立ちすくんでいる誠。	(ウ) 「子供のしたことなんだから」 (幹) 「そうそう、若気の至り、思い余ってってヤツだよ」	5+12	
	225		どこかにあるスピーカー	(SE) キーーン	2+0	
	226		マイクに叫ぶ七実。	(七)(on→off) 「聞く耳持たー	2+0	

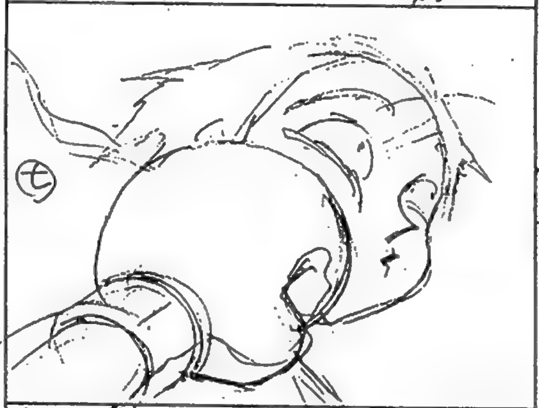
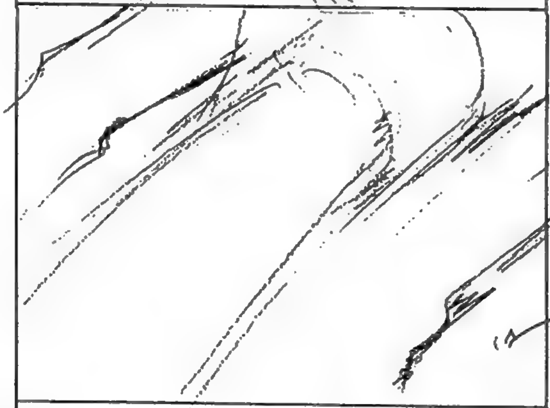
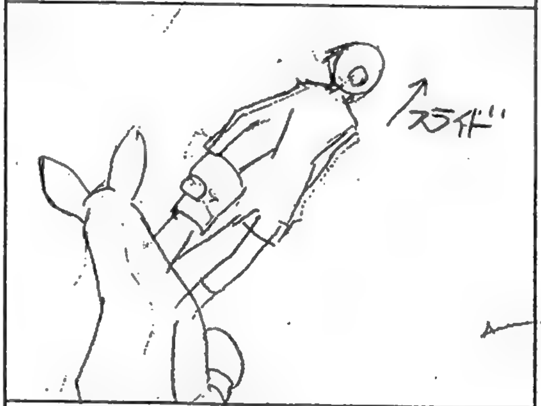
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	227		響く七実の声	ん	3+0	
	228		ミ千ジトの誠 (つかん)			
			後ずさる ちょっと(付けPAN)		3+0	
	229		誠に詰め寄っている七実。 幹とウテナが両脇から押えている。	㋣ 「お前のせいで 私は、 私はお兄様を バカ呼ばわり してしまったのよ!」		
			七実、乗り出して。		5+0	

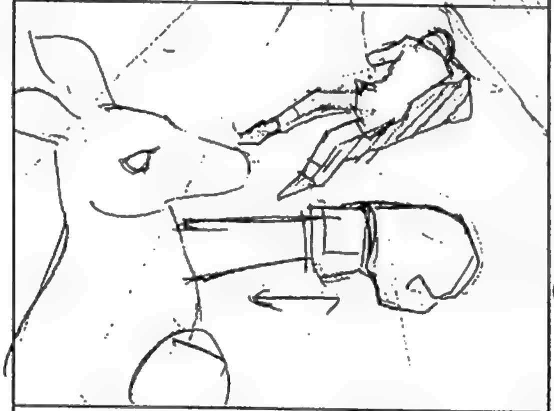
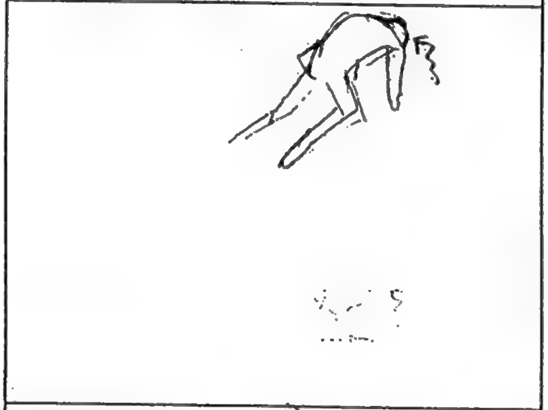
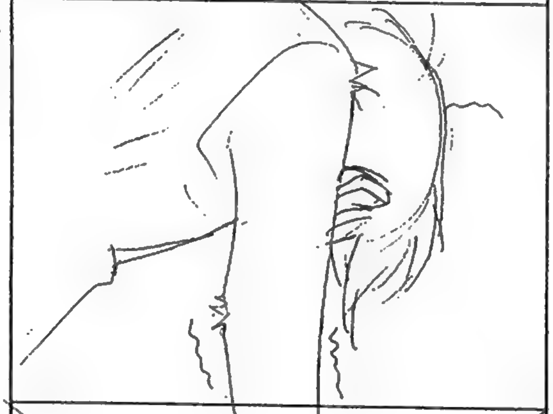
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	230		ボクシング・グローブをしたカンガルー、逆光気味 BG透過光 PAN UP	声(off) 「暴れカンガルーだ!」 声(off) 「暴れカンガルーが出たぞ!」	4+0	
	231		声に振り返る七実たち	七実たち 「えっ!」	1+12	
	232		打ち鳴らされるゴング	SE カーン	2+0	
	233		リングのコーナーから、			

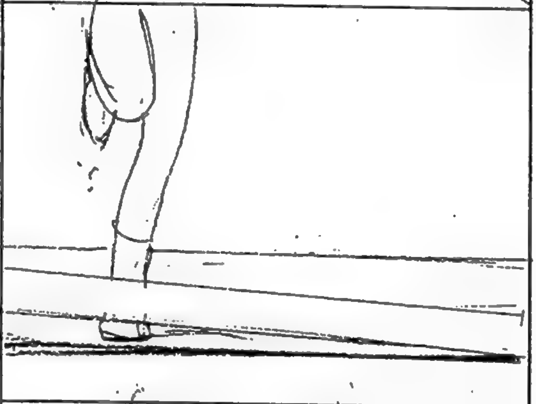
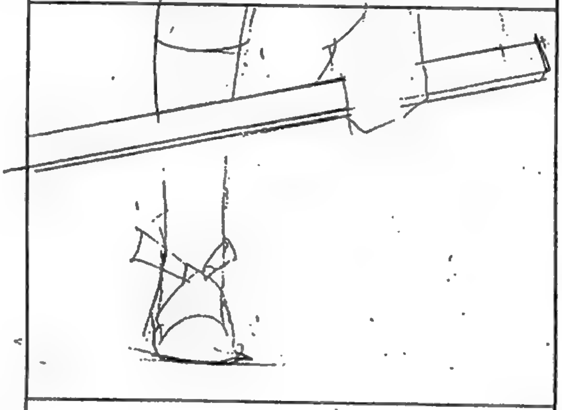
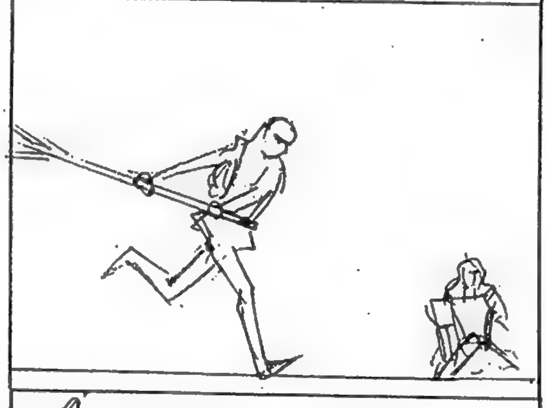
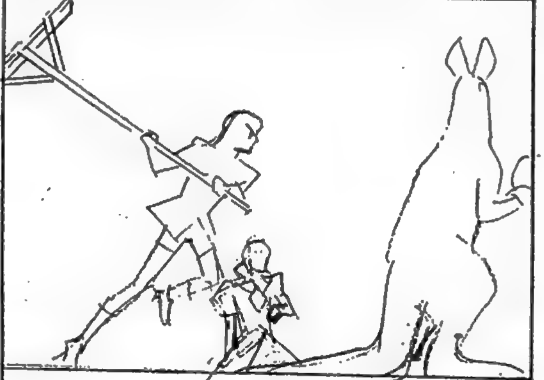
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			飛び跳ねす カンガルー		1+0	
	234		ぴょんぴょん はねて来る カンガルー (リピート) T.U (カットじゅう) 地面(背動)		3+0	
	235		幹、七実、ウテナ.			
			幹とウテナは 左右に逃げる. 立ちすくむ七実.		2+0	
	236		突進する カンガルー. 手前に流線ブラシ		2+0	

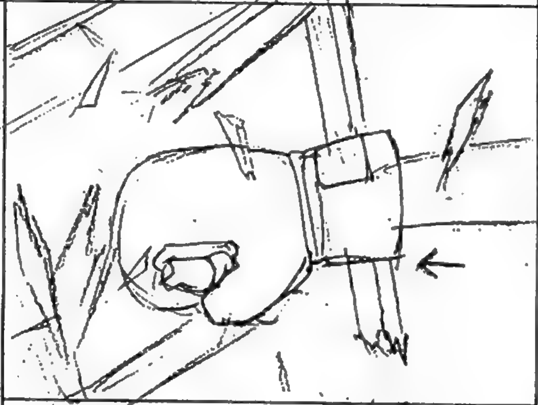
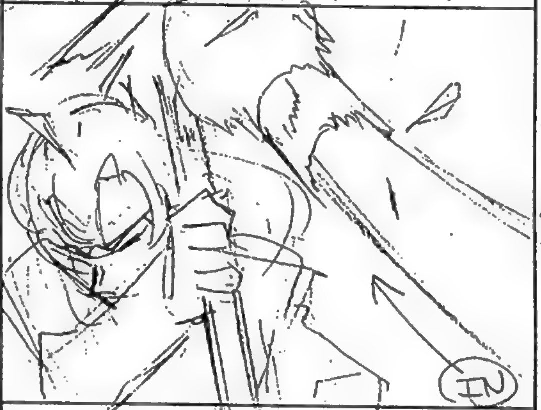
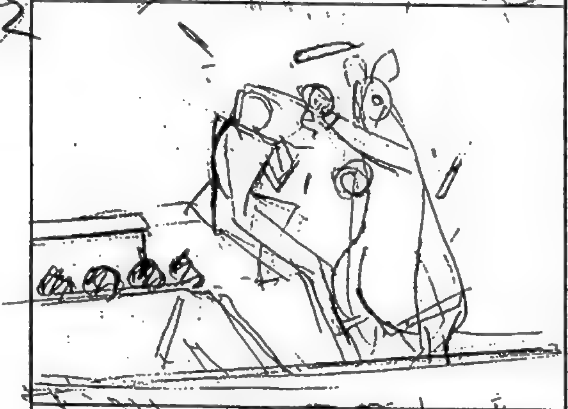
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	237	 	七実に向って来るカンガルー (リピート+TB)		3+0	
	238	  	七実に迫る行くカメラ. C-90 兼用	(七)「キャ……」		
		(白コマ)	▽W.FO (0+12k)		2+0	

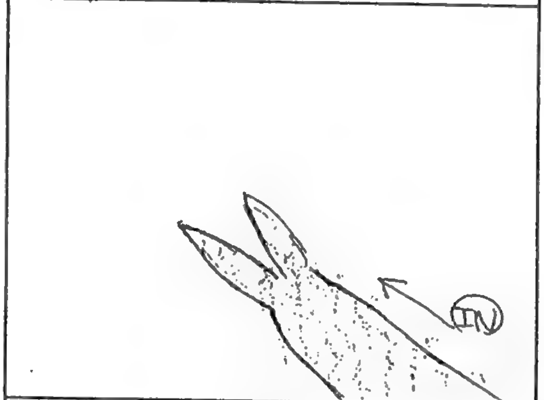
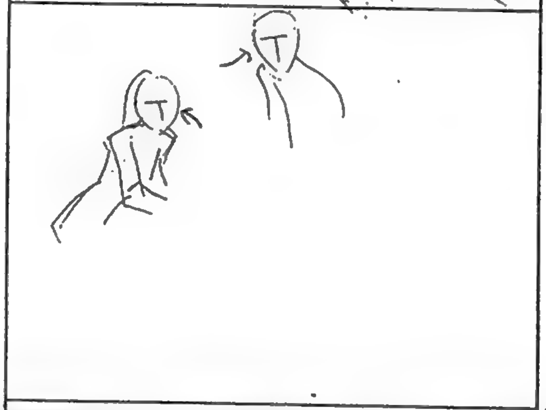
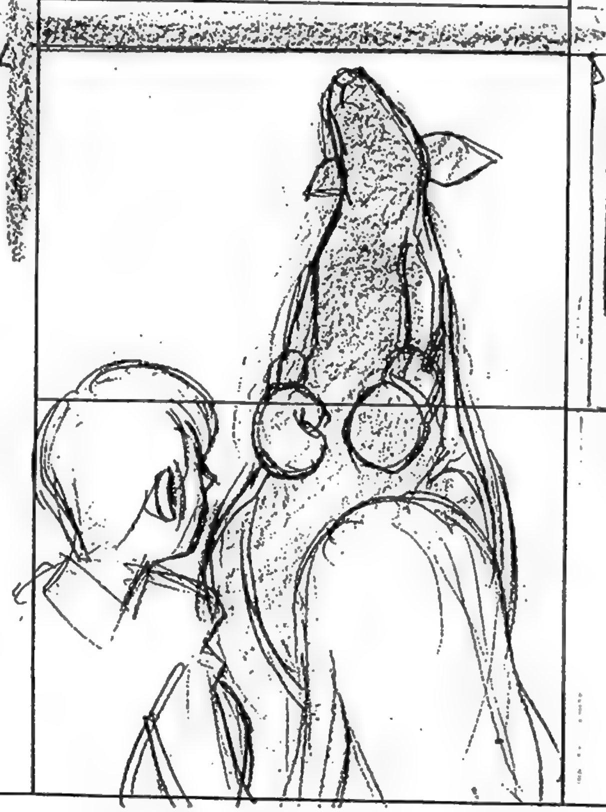
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	N/E
	239		△白コマからW.F.I (0+8K) 七実に殴りかかるカンガルー BG透過光 止メ	SE (何かショックの音)	2+0	
	240		拳を振り上げているカンガルー BG流PAN 台			
			パンチをくり出す。 ストロボ		1+12	
	241		七実に向って迫るパンチ BG流PAN 台			
			身を縮める七実 ストロボ		1+12	

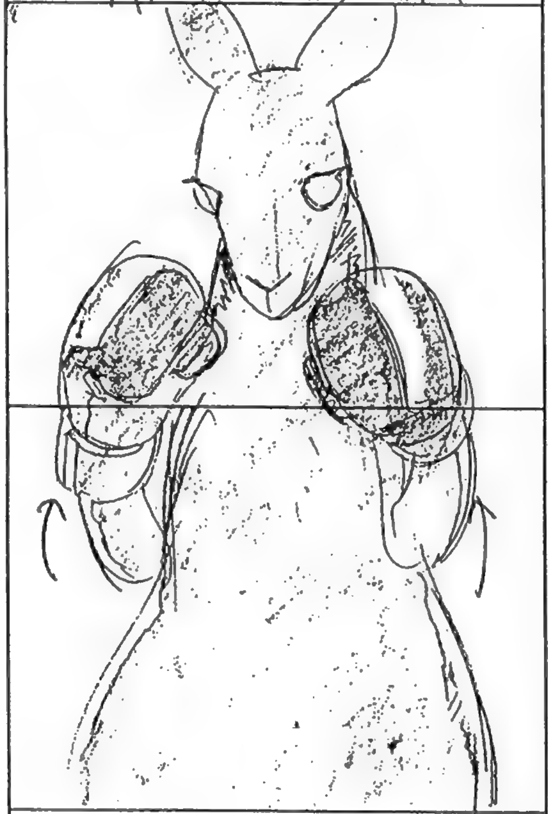
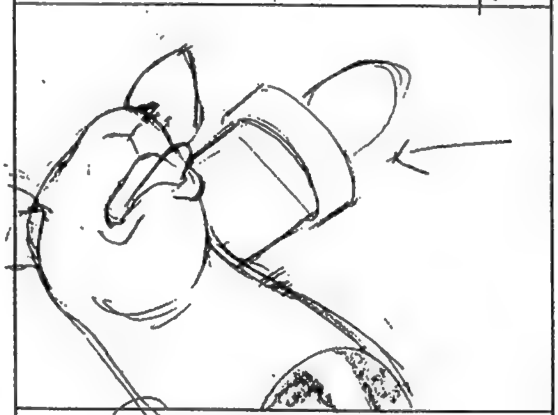
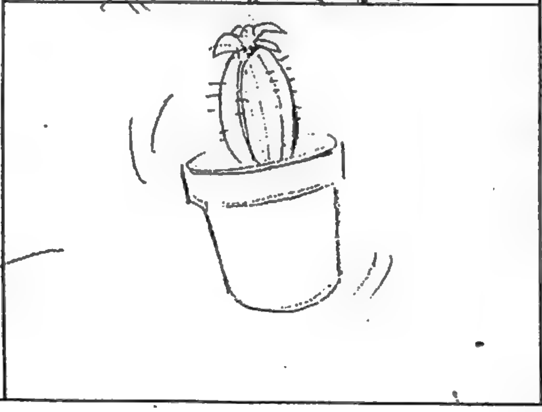
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	242		カット頭、白コマパカパカ。七実をかばって殴られている誠。	(SE) ドシーーン		
	↓		カット後半、カンガルーのパンチが強くて、誠の顔がくずれる。			
	↓		カット尻、ノーマルのスピードになって、バッと動く。 (BG透過光)		4+12	
	243		飛んで行く誠。スライド（スロー） (BG透過光)		3+0	
	244		「あっ」となる七実。 （以後、ノーマルのタイミング） （BGもノーマル）	(七) 「石蕗！」	2+12	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	245		立ち止まっているウテナと幹。	(ウ) 「石蕗くん!」	2+0	
	246		シャドウボクシングをやっている、カンガルーの奥に倒れている誠。 (フカン)	(SE) シュッ、シュッ		
	↓		ヨロヨロと体を起こす。		4+0	
	247		誠。	(誠) 「ま、守らなきゃ…… 僕が七実さんを 守らなきゃ」	7+0	

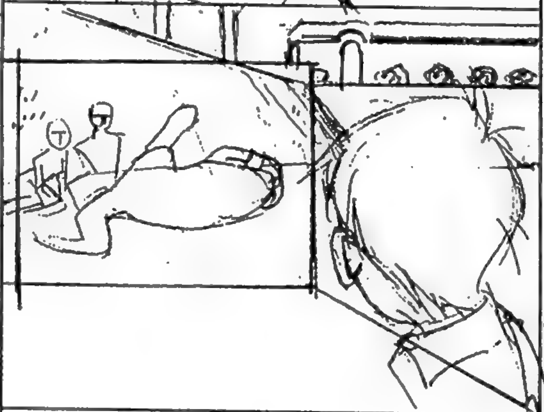
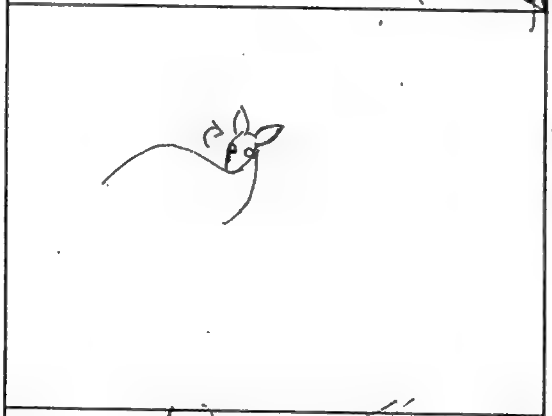
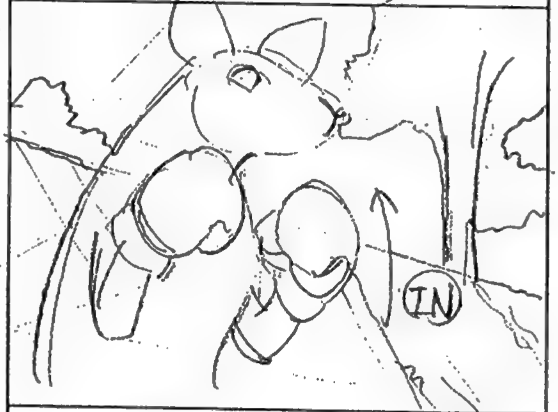
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	248					
			走りながら 地面のトンボを 持ち上げる ウテナ。 (手とトンボが OUTするところまで)		1+0	
	249		カンガルーに トンボで殴り かかるウテナ。 PAN			
			手前は地面、ウテナ カンガルー)は 早い移動 カット尻 向く	(ウ) 「この——！」	1+12	

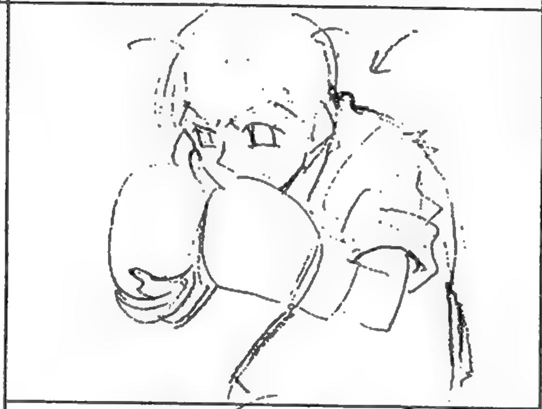
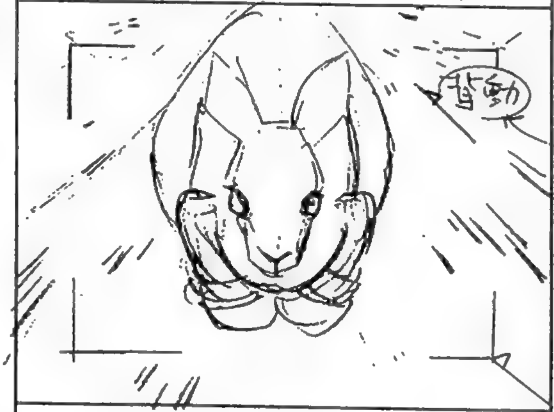
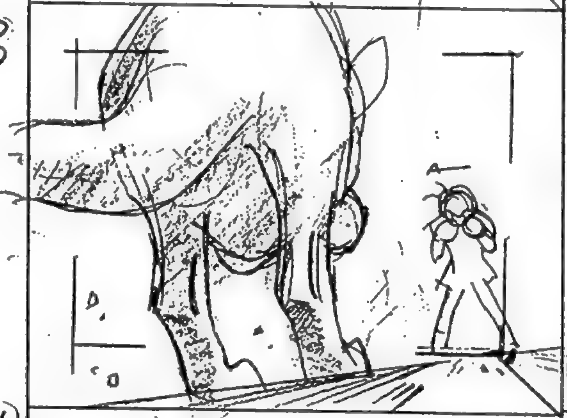
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	250		カンガルーパンチで砕けるトンボの先端。 •画面Ⓦ/N (0+08) •スロー (cut頭から砕けている。破片が広がる感じ)		2+0	
	251		ゲッとなっているウテナ			
			もう一発パンチが飛んで来てさらにトンボを砕く。	Ⓤ「うわっ!」	1+0	
	252		その勢いではじき飛ばされるウテナ。 PAN 芝生の斜面まですべって来る。			
					2+0	

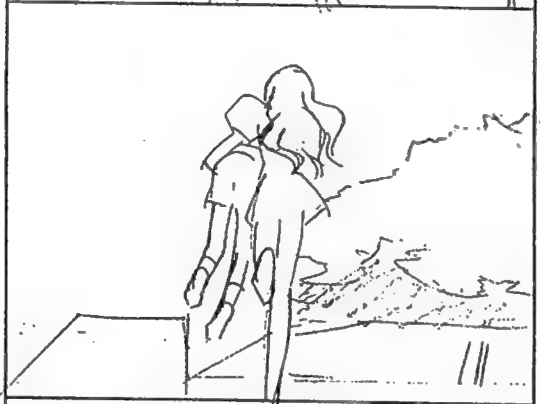
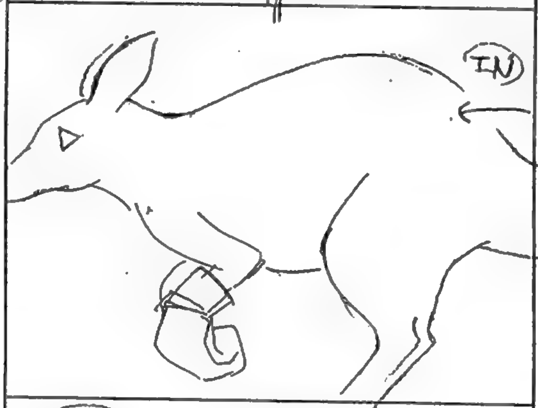
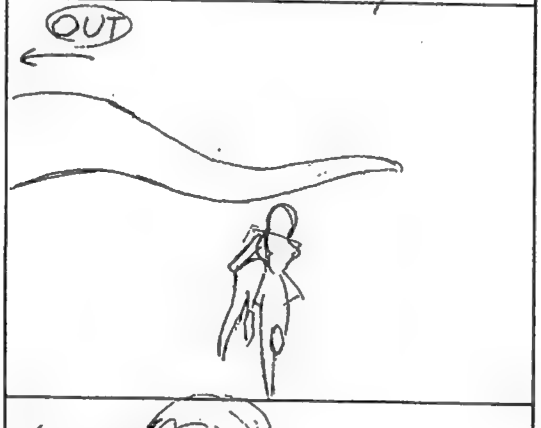
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	253		倒れているウテナに駆け寄る幹。	(幹) 「天上センパイ!」		
			そこへ影が入って来る			
			見上げる幹とウテナ		5+0	
	254		PAN-UP 逆光のカンガルーが立っている。 下を向く。 		4+0	

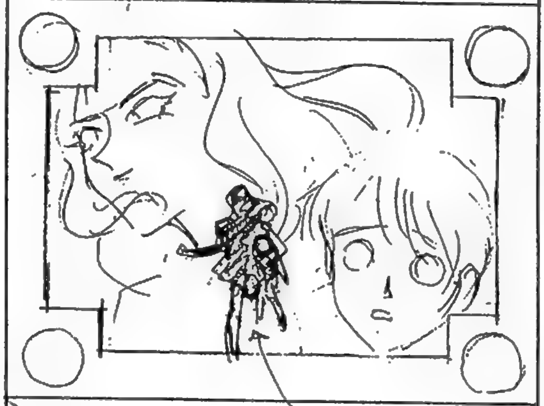
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	255		ひぃ〜〜となる ウテナと幹。	ウ (幹) 「ひぃ〜〜〜」	2+0	
	256		ファイティングポーズを取る カンガルー PAN・UP			
			その頭に 植木鉢が 当たる。			
			カンガルー倒れる。 植木鉢は空中でタメ。		5+0	

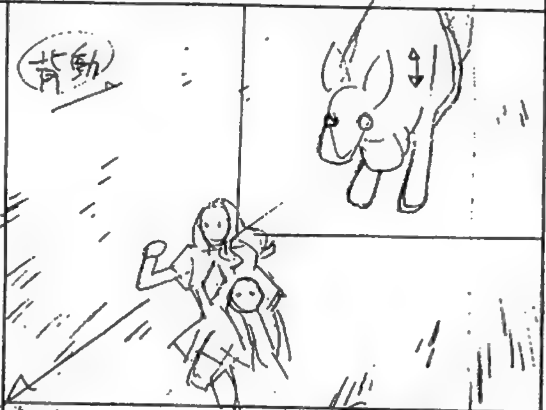
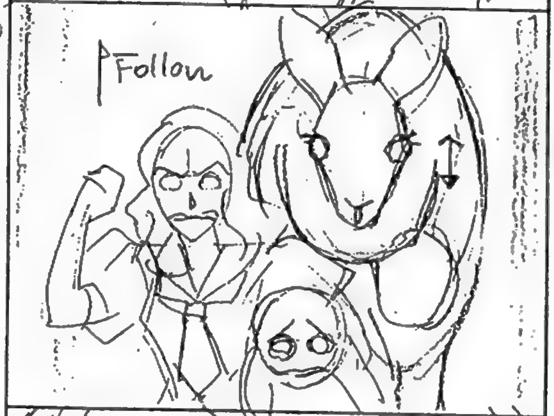
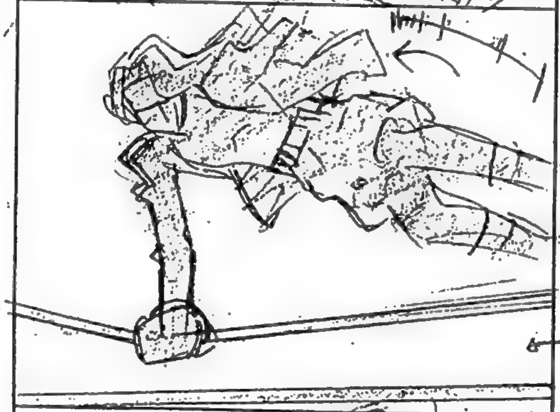
J.C.STAFF

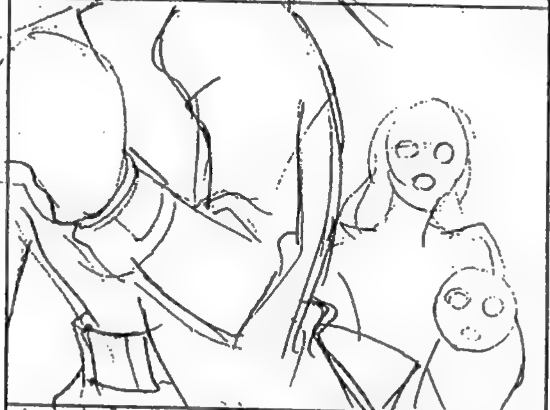
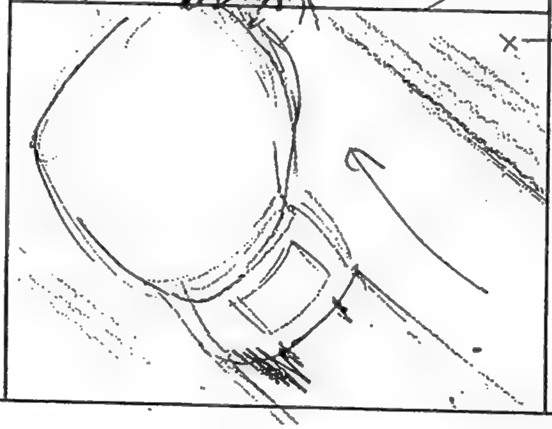
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	257		植木鉢を投げたポーズの誠。	(誠)「その人に手を出すな！」	2+12	
	258		頭をかかえ込んで倒れているカンガルー。奥にウテナと幹。 TB すると誠。	(ウ)「石蕗くん」 (誠)「来い！貴様の相手はこの僕だ！」		
	↓		誠のセリフ後、頭を上げるカンガルー。		6+0	
	259		立ち上がるカンガルー。			
	↓		走り出す。		2+12	

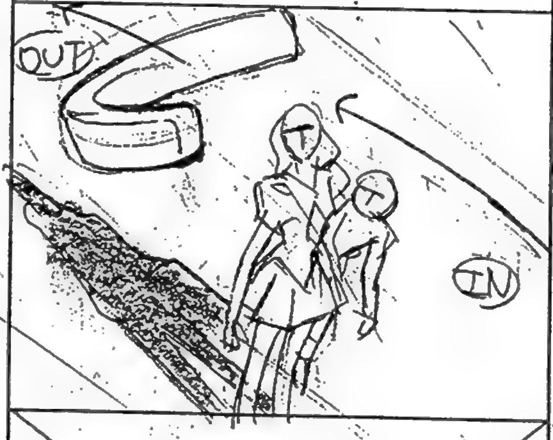
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	260		グローブした誠、グッとかまえる。		2+0	
	261		はねて来るカンガルー (BG 2枚パカ テクスチャーは動画) TU (カットじゅう)		3+0	
	262		誠。 TU (カットじゅう)	誠 (M) 「僕は七実さんのお兄様になるんだ！	3+0	
	263		誠に迫るカンガルー (地面、背動) TU (カットじゅう)	七実さんのお兄様に、	2+0	
	264		誠。 TU (1+0)	僕が！」		

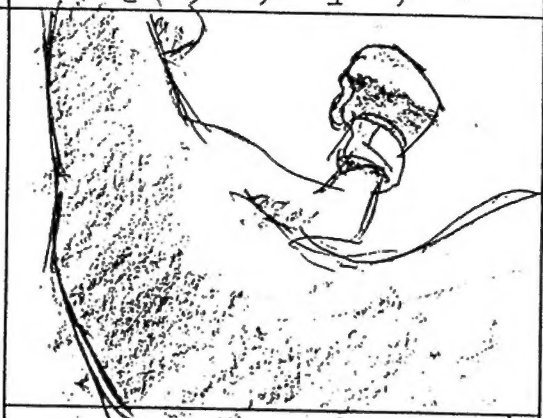
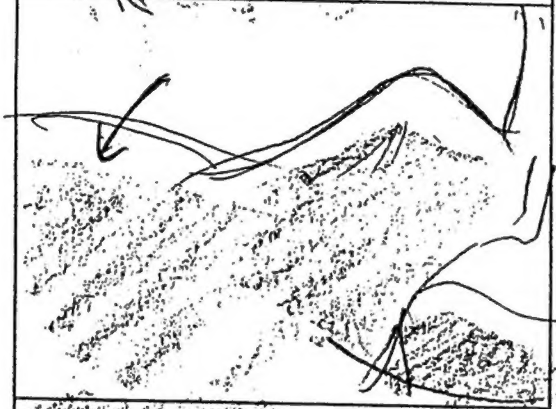
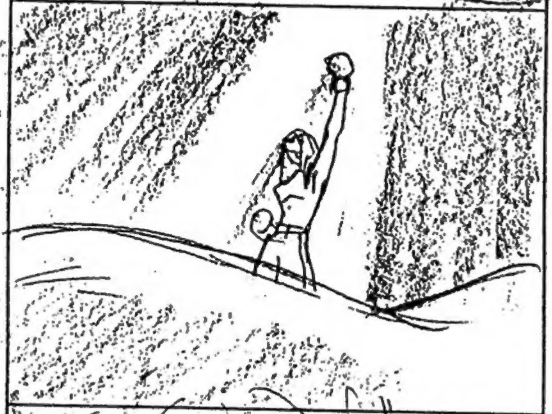
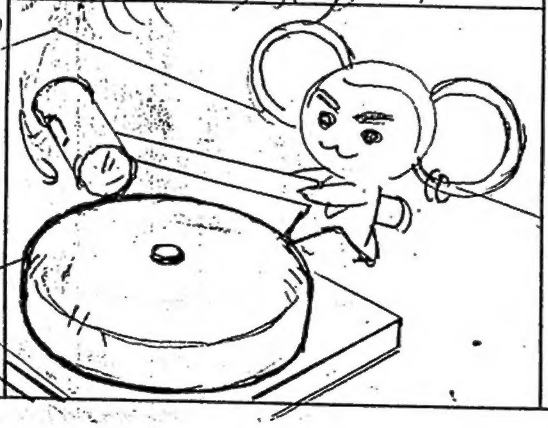
S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
		七美がINして誠をかかえる。(このカットではまだ状況はわからなくて可)		1+12	
265		誠をかかえて走る七実			
		画面手前を横切るカンガルー			
				1+12	
266		誠をかかえて走る七実	(誠)「七実さん！」 (七)「バカね 逃げるのよ」 (誠)「でも」	4+0	

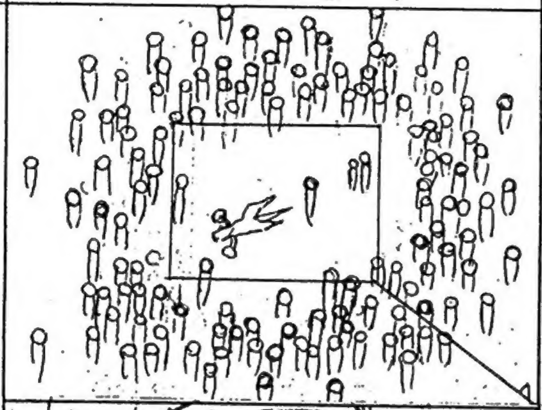
S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
267		走る七実。 (誠の見た目近く)	(七) 「お兄様は、 お兄様。 石蕗は、石蕗よ」	3+0	
268		はっとする 誠。	(誠) 「!」	2+0	
269		少女マンガ風の 空間が交錯した イメージで、 七実と誠。 スローの走り、 リピート。 他は止メ。	(七) 「こんな事であなた が死んでも私 泣いてあげない からね。 なぜって？…… それはね石蕗、 あなたは私の 大切な下部。 こんなことで 壊すわけには いかないのよ」	13+0	

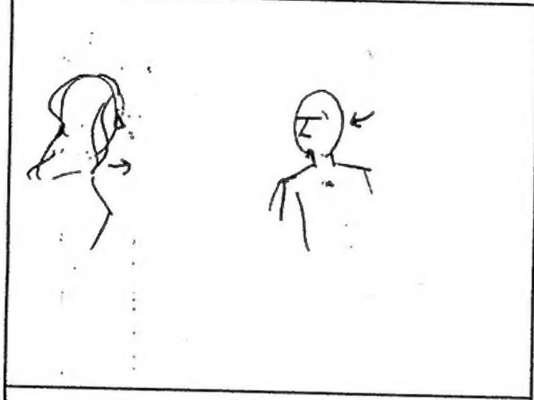
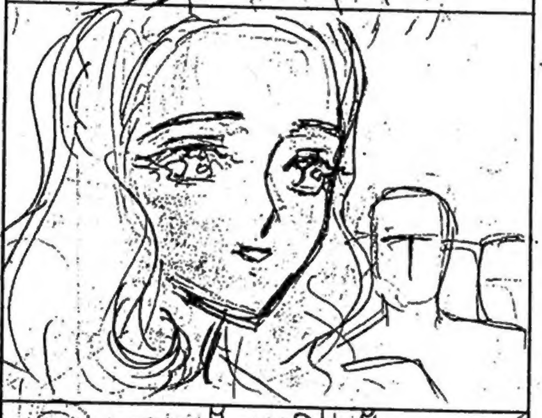
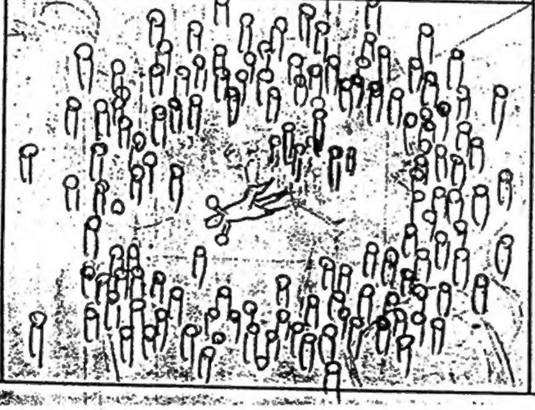
S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	270		猛然と追って来るカンガルー 全力で逃げる七実 (BG2枚パカ テクスチャーは動画) TB	七 誠 「ひい――」	4+0	
	271		追うカンガルー 逃げる七実と誠 (リピート) カンガルーは スライド加味	七 誠 「ひい――」	3+0	
	272		来てるカンガルー 七実たちのすぐ後。 (リピート) カンガルーは スライド加味。	七 誠 「ひい――」	3+0	
	273		ロープを飛び越えるボクサー姿の男。 (ノーマル→スロー) BG透過光		2+0	
	274		「あ」と見ている七実と誠。 ボクサー男 クルリと回転しながら、 付けPAN			

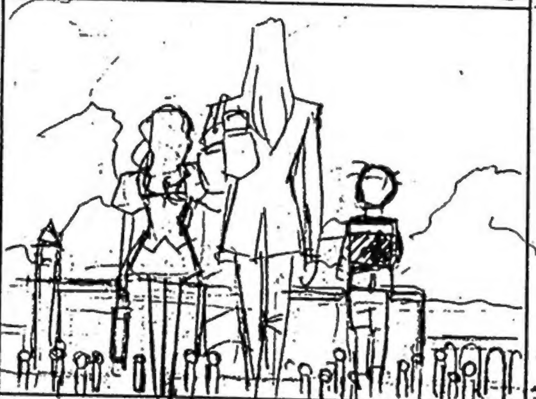
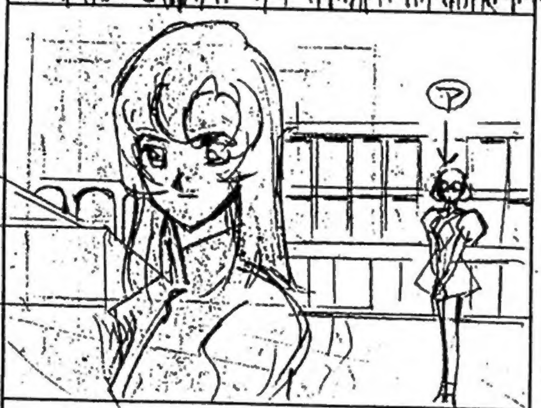
S C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
		カンガルーと七実たちの間に入る。 （地味に見えそうだったら 1.5〜2回転）		2+0	
275		突っ込んで来るカンガルー。 かまえたポーズでスライド↘ 背動は （BG2枚パカ （タッチは動画）		2+0	
276		 セピアパラ マル4. ×—BG+地面			
		×—流PAN 繰り出されるアッパー。		1+0	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	277		なぐられてる カンガルー F.11〜1°K/70 PAN UP ×4回 ☆（1〜3回目の PANはクイック ☆（4回目のPANは ゆっくり		3+0	
	278	 	宙を舞う マウスピース （ストロボ） 見上げている 七実と誠。 フカン		3+0	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	279		ゆっくりと倒れる カンガルー 4コマシート (スローイメージで)			
						
			その奥に 拳を差し上げて いる(アッパーの ポーズ) 冬芽。 BGはリング上の イメージ		4+0	
	280		冬芽		3+0	
	281		ゴングを打ち 鳴らすチュチュ。 本部席。	SE カン カン カン	2+0	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	282		いつの間にか集まって来ている生徒たち。 IB	生徒たち「ワァー（歓声） SE カーーッ	5+0	
	283			七「お兄様！来てくれたんですね」		
	284			冬「少々イタズラが過ぎるな、七実」		
	285		人垣のむこうからアンシーが叫ぶ。	ア「ウテナ様ー 薔薇園の害虫退治おわりました」	4+0	
	286		ウテナたち。 誠は冬芽がグローブをはずすのを手伝っている	七「えっ？」		

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
			説明する幹	(幹)「温室が立入禁止になっていたのも、殺すの殺さないの話も全部虫の話だったんですよ		
			冬芽を見る七実	(七美) え？…	8+0	
	287		微笑む冬芽		2+12	ガヤ消えて
	288		七実	(七)「…お兄様……」	3+0	
	289		同ポ	(七)(off)「石蕗！」 (試)(off)「はい」 (七)(off)「別れましょう、私たち」 (試)(off)「はい！」	6+12	

S	C	ピクチュア	内容	セリフ	秒数	M/E
	290		夕焼空。	誠(off) 「別れて七実サンの家の養子になります。 お兄様はダメでも、 弟にはなれるかも」 幹(off) 「(ミチジット)オイオイッ」 七(off) 「やっぱり私にはお兄様しかいない!」		
			PAN DOWN 歩いて行く七実、冬芽、誠の背中。(リピート) FIX —7 PAN —5 ぐらい		12+0	
	291		見ているウテナ。 奥にアンシー	め(M) 「桐生冬芽…… やっぱりタダ者じゃない」	5+0	
	292		冬芽 (カット頭、もう立ち止まっている) 振り返る。	1+12	3+12	
アイキャッチ		アイキャッチ	ラスト アイキャッチ	総カット数 291(C-99欠) 総秒数 1210+10k (オーバー40+0k)	3+0	